

農業農村整備事業等再評価地区別資料

局 名	九州農政局
-----	-------

都道府県名	鹿児島県	関係市町村名	おおしまぐんとくのしまちよう 大島郡徳之島町
事業名	水利施設等保全高度化事業	地区名	だいにみなみがめ 第二南亀
事業主体名	鹿児島県	事業採択年度	平成 27(2015)年度
<p>〔事業内容〕</p> <p>事業目的： 本地区は、農業を基幹産業とする畑作農業地帯である。国営農地開発、県営畑地帯総合整備事業及び団体営整備等により区画整理が実施され営農条件は改善されている。</p> <p>しかし、離島という立地条件や降雨の偏りが大きいこともあり、干ばつ被害や強風、潮風による塩害を受けやすく、天候頼みの不安定な農業経営を強いられている。また、本地区の西側団地では区画が不整形であり、効率的な農業ができない状況である。</p> <p>このため、国営かんがい排水事業「徳之島用水地区」にて造成された「徳之島ダム」を水源とした末端畑地かんがい施設（新設）を整備し、西側団地の区画整理未整備地区を併せて整備することにより生産性を高め、国営事業と一体化した効果の発現を図る。これにより、農業の生産性向上、規模拡大と担い手農家の育成を図り、地域農業の発展を目指す。</p> <p>受益面積： 110ha</p> <p>主要工事計画： 農業用排水施設 110ha 区画整理 27ha（整地工 21ha、農道 1km、排水路 2km、土壤改良 41ha、排水処理工 30ha）</p> <p>総事業費： 2,836 百万円（計画総事業費：2,777 百万円）</p> <p>工期： 平成 27(2015)年度～令和 10(2028)年度 （計画工期：平成 27(2015)年度～令和 8(2026)年度）</p> <p>関連事業： 国営かんがい排水事業徳之島用水地区</p>			
<p>〔項目〕</p> <p>ア 事業の進捗状況</p> <p>本地区の令和 6(2024)年度までの進捗率は 76%である。区画整理及び農道整備は概ね完了している。</p> <p>農業用排水施設について、管路工は概ね完了しており、末端散水施設の早期完了に向け整備を進める予定である。土壤改良についても早期効果発現に向けて、整備を進める予定である。</p> <p>① 計画工期に対して著しい変更は認められないか</p> <p>畑かん整備にあたり、複数の地権者及び耕作者から作付作物の変更について申出があり、末端施設の設計に変更が生じた。</p> <p>また、区画整理において、1区画の造成ほ場に対し、複数筆を造成する箇所があり、関係地権者や耕作者間の調整に時間を要したが、令和 10(2028)年度の完了に向けて計画的な事業実施に努める。</p>			

- ② 地元負担等について、関係者間の合意形成が図られているか
地元負担について関係者との合意形成が図られている。

イ 関連事業の進捗状況

本地区の関連事業は「国営かんがい排水事業徳之島用水地区」である。平成 29(2017)年度に事業が完了していることから、水源である徳之島ダムの供用がすでに開始されている。

- ① 「農業農村整備事業管理計画」等に即し、関連施策等との連携・調整が行われているか
農業農村整備事業管理計画に即し、適切に連携・調整が行われている。
- ② 国営附帯地区については、国営事業との進捗調整が図られているか
国営事業が完了していることから、本事業の早期完了を図る。

ウ 農林水産業の情勢、農山漁村の状況その他の社会経済情勢の変化

- ① 受益面積の増又は減が10%未満であるか
計画変更（令和7(2025)年4月計画確定）以降、受益面積の変動は生じていない。
- ② 主要工事計画の著しい変更が認められないか
計画変更（令和7(2025)年4月計画確定）以降、主要工事計画の変更は生じていない。

エ 費用対効果分析の算定基礎となった要因の変化（費用対効果分析の結果を含む）

本地区は、農業効果の算定基礎となる地域農業振興の基本方針などの、諸情勢の変化を踏まえた計画変更を行っており、計画変更以降、費用対効果分析の基礎となる要因の変化は生じていない。

- ① 工法や事業量の変更に伴う事業費増分（労賃又は物価の変動によるものを除く。）が計画事業費の10%未満であるか
計画変更（令和7(2025)年4月計画確定）以降、工法や事業量の変更に伴う計画事業費の変更は生じていない。
- ② 市町村等が策定する農業振興計画等との整合が図られているか
徳之島町の農業振興地域整備計画と整合が図られている。
- ③ 費用対効果分析の結果
(B/C) 1.22（現計画時：1.07）

オ 事業コスト縮減等の可能性

工事に伴う建設発生土について、処分場に搬出せず可能な限り農地へ還元するなど有効利用できるよう、地権者等に積極的に声かけを行っており、処分費用の縮減に努めている。
また、用水施設の管理設時の埋設深さについて浅埋設（1.2m→0.6m）とするなど、積極的にコスト縮減に努めている。

カ 地元（受益者、地方公共団体等）の意向

受益地ではさとうきびを基幹に露地野菜などを中心とした栽培が行われており、徳之島ダムからの通水に伴い、平成28(2016)年度から本地区でも水利用が開始されたことにより、畑地かんがい用水を活用した高収益作物栽培の推進や作物の生産性向上に取り組んでいるところである。

受益者・町・土地改良区は、営農の省力化や農業用水の確保による農業経営の安定及び生産性向上のため、本事業による農業用排水施設・区画整理の早期完了を要望している。

キ 代替案の実現可能性
該当なし

ク その他

① 環境等の調和への配慮

本地域は、「アマミノクロウサギ」などの希少生物が近隣の山林等で確認されている。本事業を行うことで、希少生物を含む各種生物の生息場所や餌場が改変され、生態系に悪影響を及ぼすような直接的影響は無いが、重機等の振動や騒音による影響が懸念されることから、今後も排ガス対策型や低騒音・低振動型の作業機械を使用し、各種生物へ配慮している。

また、工事の実施においては、降雨時に土砂流出等が懸念されるため、降雨時は工事を実施しないなど、海洋生物の生息環境へも配慮している。

② 計画変更

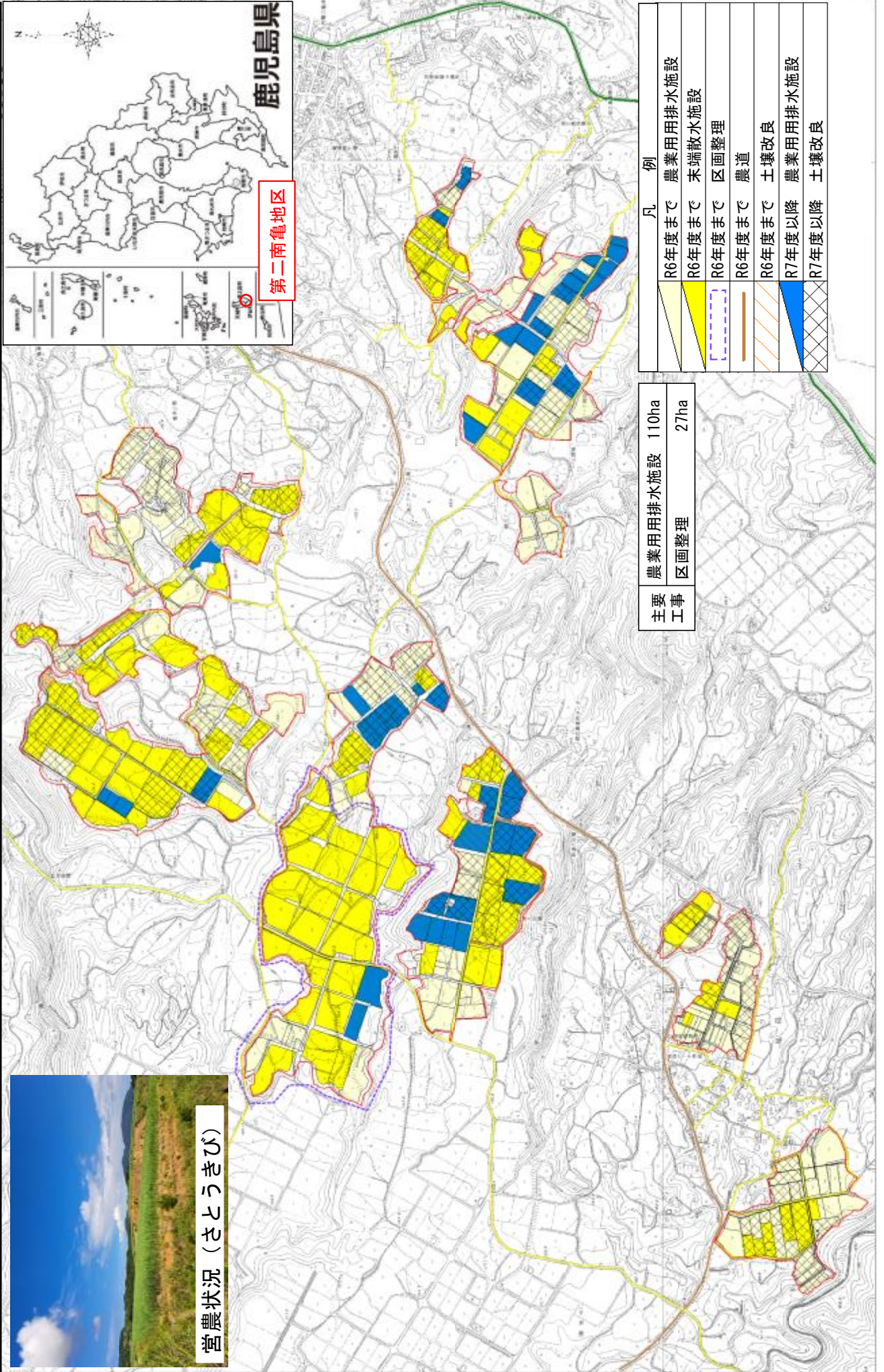
第1回計画変更年月日（計画確定日） 令和7（2025）年4月25日。

事業主体の 事業実施方針	継続する。
事業主体の 予算要求方針	令和8年度予算を要求する。
第三者 の意見	
補助金 交付の方針	

水利施設等保全高度化事業 だいいにみなみがめ 「第二南亀地区」事業概要図



営農状況 (さとうきび)



鹿児島県
第二南亀地区

第二南亀地区の事業の効用に関する説明資料

1 総費用総便益比の算定

(1) 総費用総便益比の総括

(単位：千円)

区 分	算定式	数値
総費用（現在価値化）	①＝②＋③	8,050,022
当該事業による費用	②	3,753,039
関連事業による費用、資産価額、再整備費	③	4,296,983
評価期間（当該事業の工事期間＋40年）	④	54年
社会的割引率		4%
総便益額（現在価値化）	⑤	9,854,727
総費用総便益比	⑥＝⑤÷①	1.22

(2) 総費用の総括

(単位：千円)

区分	施設名 (又は工種)	資 産 価 額 (事業着工時点) ①	当該事業 による 費 用 ②	関 連 事 業 に よ る 費 用 ③	再 整 備 費 ④	資 産 価 額 (評価期間 終了時点) ⑤	総費用 ⑥＝ ①＋②＋③ ＋④－⑤
当該事業	農業用排水施設	-	2,449,368	-	490,502	309,749	2,630,121
	区画整理	-	1,084,109	-	229,882	17,540	1,296,451
	農道整備	-	85,132	-	68,521	10,284	143,369
	土壌改良	-	134,430	-	122,567	15,615	241,382
	小 計	-	3,753,039	-	911,472	353,188	4,311,323
その他	国営徳之島用水地区	-	-	3,644,038	289,507	194,846	3,738,699
	小 計	-	-	3,644,038	289,507	194,846	3,738,699
	合 計	-	3,753,039	3,644,038	1,200,979	548,034	8,050,022

(3) 年総効果額の総括

(単位：千円)

〈全体〉

効果項目	区分	年 総 効 果 (便 益) 額	効 果 の 要 因
食料の安定供給の確保に関する効果		345,516	
作物生産効果		313,270	農業用排水施設整備、区画整理及び土壌改良を実施した場合と実施しなかった場合での作物生産量が増減する効果
品質向上効果		5,411	農業用排水施設整備及び農道整備を実施した場合と実施しなかった場合での生産物の価格が維持、向上する効果。
営農経費節減効果		3,780	農業用排水施設整備及び区画整理を実施した場合と実施しなかった場合での営農経費が増減する効果
維持管理費節減効果		△ 9,242	農業用排水施設整備、区画整理及び農道整備を実施した場合と実施しなかった場合での施設の維持管理費が増減する効果
営農に係る走行経費節減効果		32,297	農道整備を実施した場合と実施しなかった場合での農業交通に係る走行経費が増減する効果
農業の持続的発展に関する効果		6,922	
農業労働環境改善効果		6,922	農業用排水施設整備を実施したことにより、営農に係る労働が質的に改善（労働強度の改善、精神的疲労の軽減など）される効果
農村の振興に関する効果		15	
地籍確定効果		15	区画整理を実施した場合と実施しなかった場合での国土調査に要する経費が節減する効果
多面的機能の発揮に関する効果		30,819	
景観・環境保全効果		30,819	農業用排水施設整備及び区画整理にあたり、周辺の景観や環境へ配慮した設計・構造を合わせもった施設として整備されることで発揮される効果（降雨時は工事を行わないことにより、海へ赤土流出を防ぐことによる多面的な効果）
その他の効果		29,914	
国産農産物安定供給効果		29,914	農業用排水施設整備、区画整理及び土壌改良の実施により農業生産性の向上や営農条件等の改善が図られ、国産農産物の安定供給に寄与する効果
合 計		413,186	

〈農業用排水施設〉

(単位：千円)

効果項目	区分	年 総 効 果 (便 益) 額	効 果 の 要 因
食料の安定供給の確保に関する効果		288,673	
	作物生産効果	292,822	農業用排水施設整備を実施した場合と実施しなかった場合での作物生産量が増減する効果
	品質向上効果	4,409	農業用排水施設整備を実施した場合と実施しなかった場合での生産物の価格が維持、向上する効果。
	営農経費節減効果	△ 424	農業用排水施設整備を実施した場合と実施しなかった場合での営農経費が増減する効果
	維持管理費節減効果	△ 8,134	農業用排水施設整備を実施した場合と実施しなかった場合での施設の維持管理費が増減する効果
農業の持続的発展に関する効果		6,922	
	農業労働環境改善効果	6,922	農業用排水施設整備を実施したことにより、営農に係る労働が質的に改善（労働強度の改善、精神的疲労の軽減など）される効果
多面的機能の発揮に関する効果		11,125	
	景観・環境保全効果	11,125	農業用排水施設整備にあたり、周辺の景観や環境へ配慮した設計・構造を合わせもった施設として整備されることで発揮される効果（降雨時は工事を行わないことにより、海へ赤土流出を防ぐことによる多面的な効果）
その他の効果		26,040	
	国産農産物安定供給効果	26,040	農業用排水施設整備の実施により農業生産性の向上や営農条件等の改善が図られ、国産農産物の安定供給に寄与する効果
合 計		332,760	

〈区画整理〉

(単位：千円)

効果項目	区分	年 総 効 果 (便 益) 額	効 果 の 要 因
食料の安定供給の確保に関する効果		31,354	
作物生産効果		6,663	区画整理を実施した場合と実施しなかった場合での作物生産量が増減する効果
営農経費節減効果		4,204	区画整理を実施した場合と実施しなかった場合での営農経費が増減する効果
維持管理費節減効果		△ 1,077	区画整理を実施した場合と実施しなかった場合での施設の維持管理費が増減する効果
営農に係る走行経費節減効果		21,564	農道整備を実施した場合と実施しなかった場合での農業交通に係る走行経費が増減する効果
農村の振興に関する効果		15	
地籍確定効果		15	区画整理を実施した場合と実施しなかった場合での国土調査に要する経費が節減する効果
多面的機能の発揮に関する効果		19,694	
景観・環境保全効果		19,694	区画整理にあたり、周辺の景観や環境へ配慮した設計・構造を合わせもった施設として整備されることで発揮される効果 (降雨時は工事を行わないことにより、海へ赤土流出を防ぐことによる多面的な効果)
その他の効果		1,266	
国産農産物安定供給効果		1,266	区画整理の実施により農業生産性の向上や営農条件等の改善が図られ、国産農産物の安定供給に寄与する効果
合 計		52,329	

〈農道整備〉

(単位：千円)

効果項目	区分	年 総 効 果 (便 益) 額	効 果 の 要 因
食料の安定供給の確保に関する効果		11,704	
品質向上効果		1,002	農道整備を実施した場合と実施しなかった場合での生産物の価格が維持、向上する効果。
維持管理費節減効果		△ 31	農道整備を実施した場合と実施しなかった場合での施設の維持管理費が増減する効果
営農に係る走行経費節減効果		10,733	農道整備を実施した場合と実施しなかった場合での農業交通に係る走行経費が増減する効果
合 計		11,704	

〈土壌改良〉

(単位：千円)

効果項目	区分	年 総 効 果 (便 益) 額	効 果 の 要 因
食料の安定供給の確保に関する効果		13,785	
	作物生産効果	13,785	土壌改良を実施した場合と実施しなかった場合での作物生産量が増減する効果
その他の効果		2,608	
	国産農産物安定供給効果	2,608	土壌改良の実施により農業生産性の向上や営農条件等の改善が図られ、国産農産物の安定供給に寄与する効果
合 計		16,393	

(4) 総便益額算出表-1

評価期間	年度	割引率 (1+割引率) ^t ①	経過年 (t)	作物生産効果<農業用排水施設>						備考
				更新に係る効果 年効果額 (千円) ②	新設及び機能向上分に 係る効果		計		左 引 後 (千円) ⑦=⑥÷①	
					年効果額 (千円) ③	効果発生 割合 (%) ④	年効果額 (千円) ⑤=③×④	年効果額 (千円) ⑥=②+⑤		
1	H27	0.6756	-10	-	292,822	0.0	0	0	0	着工年
2	H28	0.7026	-9	-	292,822	5.0	14,641	14,641	20,838	
3	H29	0.7307	-8	-	292,822	13.0	38,067	38,067	52,097	
4	H30	0.7599	-7	-	292,822	13.0	38,067	38,067	50,095	
5	R1	0.7903	-6	-	292,822	13.0	38,067	38,067	48,168	
6	R2	0.8219	-5	-	292,822	23.0	67,349	67,349	81,943	
7	R3	0.8548	-4	-	292,822	34.0	99,559	99,559	116,471	
8	R4	0.8890	-3	-	292,822	48.0	140,555	140,555	158,105	
9	R5	0.9246	-2	-	292,822	59.0	172,765	172,765	186,854	
10	R6	0.9615	-1	-	292,822	70.0	204,975	204,975	213,183	
11	R7	1.0000	0	-	292,822	78.0	228,401	228,401	228,401	評価年
12	R8	1.0400	1	-	292,822	83.0	243,042	243,042	233,694	
13	R9	1.0816	2	-	292,822	89.0	260,612	260,612	240,950	
14	R10	1.1249	3	-	292,822	94.0	275,253	275,253	244,691	完了年
15	R11	1.1699	4	-	292,822	100.0	292,822	292,822	250,297	
16	R12	1.2167	5	-	292,822	100.0	292,822	292,822	240,669	
17	R13	1.2653	6	-	292,822	100.0	292,822	292,822	231,425	
18	R14	1.3159	7	-	292,822	100.0	292,822	292,822	222,526	
19	R15	1.3686	8	-	292,822	100.0	292,822	292,822	213,957	
20	R16	1.4233	9	-	292,822	100.0	292,822	292,822	205,735	
21	R17	1.4802	10	-	292,822	100.0	292,822	292,822	197,826	
22	R18	1.5395	11	-	292,822	100.0	292,822	292,822	190,206	
23	R19	1.6010	12	-	292,822	100.0	292,822	292,822	182,899	
24	R20	1.6651	13	-	292,822	100.0	292,822	292,822	175,859	
25	R21	1.7317	14	-	292,822	100.0	292,822	292,822	169,095	
26	R22	1.8009	15	-	292,822	100.0	292,822	292,822	162,598	
27	R23	1.8730	16	-	292,822	100.0	292,822	292,822	156,338	
28	R24	1.9479	17	-	292,822	100.0	292,822	292,822	150,327	
29	R25	2.0258	18	-	292,822	100.0	292,822	292,822	144,546	
30	R26	2.1068	19	-	292,822	100.0	292,822	292,822	138,989	
31	R27	2.1911	20	-	292,822	100.0	292,822	292,822	133,642	
32	R28	2.2788	21	-	292,822	100.0	292,822	292,822	128,498	
33	R29	2.3699	22	-	292,822	100.0	292,822	292,822	123,559	
34	R30	2.4647	23	-	292,822	100.0	292,822	292,822	118,806	
35	R31	2.5633	24	-	292,822	100.0	292,822	292,822	114,236	
36	R32	2.6658	25	-	292,822	100.0	292,822	292,822	109,844	
37	R33	2.7725	26	-	292,822	100.0	292,822	292,822	105,617	
38	R34	2.8834	27	-	292,822	100.0	292,822	292,822	101,554	
39	R35	2.9987	28	-	292,822	100.0	292,822	292,822	97,650	
40	R36	3.1187	29	-	292,822	100.0	292,822	292,822	93,892	
41	R37	3.2434	30	-	292,822	100.0	292,822	292,822	90,282	
42	R38	3.3731	31	-	292,822	100.0	292,822	292,822	86,811	
43	R39	3.5081	32	-	292,822	100.0	292,822	292,822	83,470	
44	R40	3.6484	33	-	292,822	100.0	292,822	292,822	80,260	
45	R41	3.7943	34	-	292,822	100.0	292,822	292,822	77,174	
46	R42	3.9461	35	-	292,822	100.0	292,822	292,822	74,205	
47	R43	4.1039	36	-	292,822	100.0	292,822	292,822	71,352	
48	R44	4.2681	37	-	292,822	100.0	292,822	292,822	68,607	
49	R45	4.4388	38	-	292,822	100.0	292,822	292,822	65,969	
50	R46	4.6164	39	-	292,822	100.0	292,822	292,822	63,431	
51	R47	4.8010	40	-	292,822	100.0	292,822	292,822	60,992	
52	R48	4.9931	41	-	292,822	100.0	292,822	292,822	58,645	
53	R49	5.1928	42	-	292,822	100.0	292,822	292,822	56,390	
54	R50	5.4005	43	-	292,822	100.0	292,822	292,822	54,221	
合計(総便益額)									7,027,889	

※経過年は評価年からの年数。

※小数点以下を四捨五入していることから、記載値は計算結果と合わない場合がある。

(4) 総便益額算出表-2

評価期間	年度	割引率 (1+割引率) ^t ①	経過年 (t)	作物生産効果<区画整理>						備考
				更新に係る効果 年効果額 (千円) ②	新設及び機能向上分に 係る効果			計		
					年効果額 (千円) ③	効果発生割合 (%) ④	年効果額 (千円) ⑤=③×④	年効果額 (千円) ⑥=②+⑤	割引率 (千円) ⑦=⑥÷①	
1	H27	0.6756	-10	-	6,663	0.0	0	0	0	着工年
2	H28	0.7026	-9	-	6,663	0.0	0	0	0	
3	H29	0.7307	-8	-	6,663	0.0	0	0	0	
4	H30	0.7599	-7	-	6,663	49.0	3,265	3,265	4,297	
5	R1	0.7903	-6	-	6,663	86.0	5,730	5,730	7,250	
6	R2	0.8219	-5	-	6,663	89.0	5,930	5,930	7,215	
7	R3	0.8548	-4	-	6,663	89.0	5,930	5,930	6,937	
8	R4	0.8890	-3	-	6,663	89.0	5,930	5,930	6,670	
9	R5	0.9246	-2	-	6,663	89.0	5,930	5,930	6,414	
10	R6	0.9615	-1	-	6,663	89.0	5,930	5,930	6,167	
11	R7	1.0000	0	-	6,663	89.0	5,930	5,930	5,930	評価年
12	R8	1.0400	1	-	6,663	92.0	6,130	6,130	5,894	
13	R9	1.0816	2	-	6,663	95.0	6,330	6,330	5,852	
14	R10	1.1249	3	-	6,663	97.0	6,463	6,463	5,745	完了年
15	R11	1.1699	4	-	6,663	100.0	6,663	6,663	5,695	
16	R12	1.2167	5	-	6,663	100.0	6,663	6,663	5,476	
17	R13	1.2653	6	-	6,663	100.0	6,663	6,663	5,266	
18	R14	1.3159	7	-	6,663	100.0	6,663	6,663	5,063	
19	R15	1.3686	8	-	6,663	100.0	6,663	6,663	4,868	
20	R16	1.4233	9	-	6,663	100.0	6,663	6,663	4,681	
21	R17	1.4802	10	-	6,663	100.0	6,663	6,663	4,501	
22	R18	1.5395	11	-	6,663	100.0	6,663	6,663	4,328	
23	R19	1.6010	12	-	6,663	100.0	6,663	6,663	4,162	
24	R20	1.6651	13	-	6,663	100.0	6,663	6,663	4,002	
25	R21	1.7317	14	-	6,663	100.0	6,663	6,663	3,848	
26	R22	1.8009	15	-	6,663	100.0	6,663	6,663	3,700	
27	R23	1.8730	16	-	6,663	100.0	6,663	6,663	3,557	
28	R24	1.9479	17	-	6,663	100.0	6,663	6,663	3,421	
29	R25	2.0258	18	-	6,663	100.0	6,663	6,663	3,289	
30	R26	2.1068	19	-	6,663	100.0	6,663	6,663	3,163	
31	R27	2.1911	20	-	6,663	100.0	6,663	6,663	3,041	
32	R28	2.2788	21	-	6,663	100.0	6,663	6,663	2,924	
33	R29	2.3699	22	-	6,663	100.0	6,663	6,663	2,812	
34	R30	2.4647	23	-	6,663	100.0	6,663	6,663	2,703	
35	R31	2.5633	24	-	6,663	100.0	6,663	6,663	2,599	
36	R32	2.6658	25	-	6,663	100.0	6,663	6,663	2,499	
37	R33	2.7725	26	-	6,663	100.0	6,663	6,663	2,403	
38	R34	2.8834	27	-	6,663	100.0	6,663	6,663	2,311	
39	R35	2.9987	28	-	6,663	100.0	6,663	6,663	2,222	
40	R36	3.1187	29	-	6,663	100.0	6,663	6,663	2,136	
41	R37	3.2434	30	-	6,663	100.0	6,663	6,663	2,054	
42	R38	3.3731	31	-	6,663	100.0	6,663	6,663	1,975	
43	R39	3.5081	32	-	6,663	100.0	6,663	6,663	1,899	
44	R40	3.6484	33	-	6,663	100.0	6,663	6,663	1,826	
45	R41	3.7943	34	-	6,663	100.0	6,663	6,663	1,756	
46	R42	3.9461	35	-	6,663	100.0	6,663	6,663	1,689	
47	R43	4.1039	36	-	6,663	100.0	6,663	6,663	1,624	
48	R44	4.2681	37	-	6,663	100.0	6,663	6,663	1,561	
49	R45	4.4388	38	-	6,663	100.0	6,663	6,663	1,501	
50	R46	4.6164	39	-	6,663	100.0	6,663	6,663	1,443	
51	R47	4.8010	40	-	6,663	100.0	6,663	6,663	1,388	
52	R48	4.9931	41	-	6,663	100.0	6,663	6,663	1,334	
53	R49	5.1928	42	-	6,663	100.0	6,663	6,663	1,283	
54	R50	5.4005	43	-	6,663	100.0	6,663	6,663	1,234	
合計(総便益額)									185,608	

※経過年は評価年からの年数。

※小数点以下を四捨五入していることから、記載値は計算結果と合わない場合がある。

(4) 総便益額算出表-3

評価期間	年度	割引率 (1+割引率) ^t ①	経過年 (t)	作物生産効果(土壌改良)						備考
				更新に係る年効果額 (千円) ②	新設及び機能向上分に係る効果			計		
					年効果額 (千円) ③	効果発生割合 (%) ④	年効果額 (千円) ⑤=③×④	年効果額 (千円) ⑥=②+⑤	同割引後 (千円) ⑦=⑥÷①	
1	H27	0.6756	-10	-	13,785	0.0	0	0	0	着工年
2	H28	0.7026	-9	-	13,785	0.0	0	0	0	
3	H29	0.7307	-8	-	13,785	0.0	0	0	0	
4	H30	0.7599	-7	-	13,785	0.0	0	0	0	
5	R1	0.7903	-6	-	13,785	0.0	0	0	0	
6	R2	0.8219	-5	-	13,785	0.0	0	0	0	
7	R3	0.8548	-4	-	13,785	0.0	0	0	0	
8	R4	0.8890	-3	-	13,785	1.0	138	138	155	
9	R5	0.9246	-2	-	13,785	1.0	138	138	149	
10	R6	0.9615	-1	-	13,785	1.0	138	138	144	
11	R7	1.0000	0	-	13,785	1.0	138	138	138	評価年
12	R8	1.0400	1	-	13,785	26.0	3,584	3,584	3,446	
13	R9	1.0816	2	-	13,785	50.0	6,893	6,893	6,373	
14	R10	1.1249	3	-	13,785	75.0	10,339	10,339	9,191	完了年
15	R11	1.1699	4	-	13,785	100.0	13,785	13,785	11,783	
16	R12	1.2167	5	-	13,785	100.0	13,785	13,785	11,330	
17	R13	1.2653	6	-	13,785	100.0	13,785	13,785	10,895	
18	R14	1.3159	7	-	13,785	100.0	13,785	13,785	10,476	
19	R15	1.3686	8	-	13,785	100.0	13,785	13,785	10,072	
20	R16	1.4233	9	-	13,785	100.0	13,785	13,785	9,685	
21	R17	1.4802	10	-	13,785	100.0	13,785	13,785	9,313	
22	R18	1.5395	11	-	13,785	100.0	13,785	13,785	8,954	
23	R19	1.6010	12	-	13,785	100.0	13,785	13,785	8,610	
24	R20	1.6651	13	-	13,785	100.0	13,785	13,785	8,279	
25	R21	1.7317	14	-	13,785	100.0	13,785	13,785	7,960	
26	R22	1.8009	15	-	13,785	100.0	13,785	13,785	7,655	
27	R23	1.8730	16	-	13,785	100.0	13,785	13,785	7,360	
28	R24	1.9479	17	-	13,785	100.0	13,785	13,785	7,077	
29	R25	2.0258	18	-	13,785	100.0	13,785	13,785	6,805	
30	R26	2.1068	19	-	13,785	100.0	13,785	13,785	6,543	
31	R27	2.1911	20	-	13,785	100.0	13,785	13,785	6,291	
32	R28	2.2788	21	-	13,785	100.0	13,785	13,785	6,049	
33	R29	2.3699	22	-	13,785	100.0	13,785	13,785	5,817	
34	R30	2.4647	23	-	13,785	100.0	13,785	13,785	5,593	
35	R31	2.5633	24	-	13,785	100.0	13,785	13,785	5,378	
36	R32	2.6658	25	-	13,785	100.0	13,785	13,785	5,171	
37	R33	2.7725	26	-	13,785	100.0	13,785	13,785	4,972	
38	R34	2.8834	27	-	13,785	100.0	13,785	13,785	4,781	
39	R35	2.9987	28	-	13,785	100.0	13,785	13,785	4,597	
40	R36	3.1187	29	-	13,785	100.0	13,785	13,785	4,420	
41	R37	3.2434	30	-	13,785	100.0	13,785	13,785	4,250	
42	R38	3.3731	31	-	13,785	100.0	13,785	13,785	4,087	
43	R39	3.5081	32	-	13,785	100.0	13,785	13,785	3,929	
44	R40	3.6484	33	-	13,785	100.0	13,785	13,785	3,778	
45	R41	3.7943	34	-	13,785	100.0	13,785	13,785	3,633	
46	R42	3.9461	35	-	13,785	100.0	13,785	13,785	3,493	
47	R43	4.1039	36	-	13,785	100.0	13,785	13,785	3,359	
48	R44	4.2681	37	-	13,785	100.0	13,785	13,785	3,230	
49	R45	4.4388	38	-	13,785	100.0	13,785	13,785	3,106	
50	R46	4.6164	39	-	13,785	100.0	13,785	13,785	2,986	
51	R47	4.8010	40	-	13,785	100.0	13,785	13,785	2,871	
52	R48	4.9931	41	-	13,785	100.0	13,785	13,785	2,761	
53	R49	5.1928	42	-	13,785	100.0	13,785	13,785	2,655	
54	R50	5.4005	43	-	13,785	100.0	13,785	13,785	2,553	
合計(総便益額)									262,153	

※経過年は評価年からの年数。

※小数点以下を四捨五入していることから、記載値は計算結果と合わない場合がある。

(4) 総便益額算出表-4

評価期間	年度	割引率 (1+割引率) ^t ①	経過年 (t)	品質向上効果<農業用排水施設>						備考
				更新に係る効果 年効果額 (千円) ②	新設及び機能向上分に 係る効果			計		
					年効果額 (千円) ③	効果発生割合 (%) ④	年効果額 (千円) ⑤=③×④	年効果額 (千円) ⑥=②+⑤	同引左後 (千円) ⑦=⑥÷①	
1	H27	0.6756	-10	-	4,409	0.0	0	0	0	着工年
2	H28	0.7026	-9	-	4,409	5.0	220	220	313	
3	H29	0.7307	-8	-	4,409	13.0	573	573	784	
4	H30	0.7599	-7	-	4,409	13.0	573	573	754	
5	R1	0.7903	-6	-	4,409	13.0	573	573	725	
6	R2	0.8219	-5	-	4,409	23.0	1,014	1,014	1,234	
7	R3	0.8548	-4	-	4,409	34.0	1,499	1,499	1,754	
8	R4	0.8890	-3	-	4,409	48.0	2,116	2,116	2,380	
9	R5	0.9246	-2	-	4,409	59.0	2,601	2,601	2,813	
10	R6	0.9615	-1	-	4,409	70.0	3,086	3,086	3,210	
11	R7	1.0000	0	-	4,409	78.0	3,439	3,439	3,439	評価年
12	R8	1.0400	1	-	4,409	83.0	3,659	3,659	3,518	
13	R9	1.0816	2	-	4,409	89.0	3,924	3,924	3,628	
14	R10	1.1249	3	-	4,409	94.0	4,144	4,144	3,684	完了年
15	R11	1.1699	4	-	4,409	100.0	4,409	4,409	3,769	
16	R12	1.2167	5	-	4,409	100.0	4,409	4,409	3,624	
17	R13	1.2653	6	-	4,409	100.0	4,409	4,409	3,485	
18	R14	1.3159	7	-	4,409	100.0	4,409	4,409	3,351	
19	R15	1.3686	8	-	4,409	100.0	4,409	4,409	3,222	
20	R16	1.4233	9	-	4,409	100.0	4,409	4,409	3,098	
21	R17	1.4802	10	-	4,409	100.0	4,409	4,409	2,979	
22	R18	1.5395	11	-	4,409	100.0	4,409	4,409	2,864	
23	R19	1.6010	12	-	4,409	100.0	4,409	4,409	2,754	
24	R20	1.6651	13	-	4,409	100.0	4,409	4,409	2,648	
25	R21	1.7317	14	-	4,409	100.0	4,409	4,409	2,546	
26	R22	1.8009	15	-	4,409	100.0	4,409	4,409	2,448	
27	R23	1.8730	16	-	4,409	100.0	4,409	4,409	2,354	
28	R24	1.9479	17	-	4,409	100.0	4,409	4,409	2,263	
29	R25	2.0258	18	-	4,409	100.0	4,409	4,409	2,176	
30	R26	2.1068	19	-	4,409	100.0	4,409	4,409	2,093	
31	R27	2.1911	20	-	4,409	100.0	4,409	4,409	2,012	
32	R28	2.2788	21	-	4,409	100.0	4,409	4,409	1,935	
33	R29	2.3699	22	-	4,409	100.0	4,409	4,409	1,860	
34	R30	2.4647	23	-	4,409	100.0	4,409	4,409	1,789	
35	R31	2.5633	24	-	4,409	100.0	4,409	4,409	1,720	
36	R32	2.6658	25	-	4,409	100.0	4,409	4,409	1,654	
37	R33	2.7725	26	-	4,409	100.0	4,409	4,409	1,590	
38	R34	2.8834	27	-	4,409	100.0	4,409	4,409	1,529	
39	R35	2.9987	28	-	4,409	100.0	4,409	4,409	1,470	
40	R36	3.1187	29	-	4,409	100.0	4,409	4,409	1,414	
41	R37	3.2434	30	-	4,409	100.0	4,409	4,409	1,359	
42	R38	3.3731	31	-	4,409	100.0	4,409	4,409	1,307	
43	R39	3.5081	32	-	4,409	100.0	4,409	4,409	1,257	
44	R40	3.6484	33	-	4,409	100.0	4,409	4,409	1,208	
45	R41	3.7943	34	-	4,409	100.0	4,409	4,409	1,162	
46	R42	3.9461	35	-	4,409	100.0	4,409	4,409	1,117	
47	R43	4.1039	36	-	4,409	100.0	4,409	4,409	1,074	
48	R44	4.2681	37	-	4,409	100.0	4,409	4,409	1,033	
49	R45	4.4388	38	-	4,409	100.0	4,409	4,409	993	
50	R46	4.6164	39	-	4,409	100.0	4,409	4,409	955	
51	R47	4.8010	40	-	4,409	100.0	4,409	4,409	918	
52	R48	4.9931	41	-	4,409	100.0	4,409	4,409	883	
53	R49	5.1928	42	-	4,409	100.0	4,409	4,409	849	
54	R50	5.4005	43	-	4,409	100.0	4,409	4,409	816	
合計(総便益額)									105,814	

※経過年は評価年からの年数。

※小数点以下を四捨五入していることから、記載値は計算結果と合わない場合がある。

(4) 総便益額算出表-5

評価期間	年度	割引率 (1+割引率) ^t ①	経過年 (t)	品質向上効果<農道整備>						備考
				更新に係る効果 年効果額 (千円) ②	新設及び機能向上分に 係る効果			計		
					年効果額 (千円) ③	効果発生割 (%) ④	年効果額 (千円) ⑤=③×④	年効果額 (千円) ⑥=②+⑤	割引率 (千円) ⑦=⑥÷①	
1	H27	0.6756	-10	-	1,002	0.0	0	0	0	着工年
2	H28	0.7026	-9	-	1,002	0.0	0	0	0	
3	H29	0.7307	-8	-	1,002	0.0	0	0	0	
4	H30	0.7599	-7	-	1,002	22.0	220	220	290	
5	R1	0.7903	-6	-	1,002	39.0	391	391	495	
6	R2	0.8219	-5	-	1,002	50.0	501	501	610	
7	R3	0.8548	-4	-	1,002	50.0	501	501	586	
8	R4	0.8890	-3	-	1,002	50.0	501	501	564	
9	R5	0.9246	-2	-	1,002	50.0	501	501	542	
10	R6	0.9615	-1	-	1,002	50.0	501	501	521	
11	R7	1.0000	0	-	1,002	62.0	621	621	621	評価年
12	R8	1.0400	1	-	1,002	72.0	721	721	693	
13	R9	1.0816	2	-	1,002	81.0	812	812	751	
14	R10	1.1249	3	-	1,002	91.0	912	912	811	完了年
15	R11	1.1699	4	-	1,002	100.0	1,002	1,002	856	
16	R12	1.2167	5	-	1,002	100.0	1,002	1,002	824	
17	R13	1.2653	6	-	1,002	100.0	1,002	1,002	792	
18	R14	1.3159	7	-	1,002	100.0	1,002	1,002	761	
19	R15	1.3686	8	-	1,002	100.0	1,002	1,002	732	
20	R16	1.4233	9	-	1,002	100.0	1,002	1,002	704	
21	R17	1.4802	10	-	1,002	100.0	1,002	1,002	677	
22	R18	1.5395	11	-	1,002	100.0	1,002	1,002	651	
23	R19	1.6010	12	-	1,002	100.0	1,002	1,002	626	
24	R20	1.6651	13	-	1,002	100.0	1,002	1,002	602	
25	R21	1.7317	14	-	1,002	100.0	1,002	1,002	579	
26	R22	1.8009	15	-	1,002	100.0	1,002	1,002	556	
27	R23	1.8730	16	-	1,002	100.0	1,002	1,002	535	
28	R24	1.9479	17	-	1,002	100.0	1,002	1,002	514	
29	R25	2.0258	18	-	1,002	100.0	1,002	1,002	495	
30	R26	2.1068	19	-	1,002	100.0	1,002	1,002	476	
31	R27	2.1911	20	-	1,002	100.0	1,002	1,002	457	
32	R28	2.2788	21	-	1,002	100.0	1,002	1,002	440	
33	R29	2.3699	22	-	1,002	100.0	1,002	1,002	423	
34	R30	2.4647	23	-	1,002	100.0	1,002	1,002	407	
35	R31	2.5633	24	-	1,002	100.0	1,002	1,002	391	
36	R32	2.6658	25	-	1,002	100.0	1,002	1,002	376	
37	R33	2.7725	26	-	1,002	100.0	1,002	1,002	361	
38	R34	2.8834	27	-	1,002	100.0	1,002	1,002	348	
39	R35	2.9987	28	-	1,002	100.0	1,002	1,002	334	
40	R36	3.1187	29	-	1,002	100.0	1,002	1,002	321	
41	R37	3.2434	30	-	1,002	100.0	1,002	1,002	309	
42	R38	3.3731	31	-	1,002	100.0	1,002	1,002	297	
43	R39	3.5081	32	-	1,002	100.0	1,002	1,002	286	
44	R40	3.6484	33	-	1,002	100.0	1,002	1,002	275	
45	R41	3.7943	34	-	1,002	100.0	1,002	1,002	264	
46	R42	3.9461	35	-	1,002	100.0	1,002	1,002	254	
47	R43	4.1039	36	-	1,002	100.0	1,002	1,002	244	
48	R44	4.2681	37	-	1,002	100.0	1,002	1,002	235	
49	R45	4.4388	38	-	1,002	100.0	1,002	1,002	226	
50	R46	4.6164	39	-	1,002	100.0	1,002	1,002	217	
51	R47	4.8010	40	-	1,002	100.0	1,002	1,002	209	
52	R48	4.9931	41	-	1,002	100.0	1,002	1,002	201	
53	R49	5.1928	42	-	1,002	100.0	1,002	1,002	193	
54	R50	5.4005	43	-	1,002	100.0	1,002	1,002	186	
合計(総便益額)									24,118	

※経過年は評価年からの年数。

※小数点以下を四捨五入していることから、記載値は計算結果と合わない場合がある。

(4) 総便益額算出表-6

評価期間	年度	割引率 (1+割引率) ^t ①	経過年 (t)	営農経費節減効果<農業用排水施設>						備考
				更新に係る効果 年効果額 (千円) ②	新設及び機能向上分に 係る効果			計		
					年効果額 (千円) ③	効果発生割合 (%) ④	年効果額 (千円) ⑤=③×④	年効果額 (千円) ⑥=②+⑤	同割引後 (千円) ⑦=⑥÷①	
1	H27	0.6756	-10	-	△ 424	0.0	0	0	0	着工年
2	H28	0.7026	-9	-	△ 424	5.0	△ 21	△ 21	△ 30	
3	H29	0.7307	-8	-	△ 424	13.0	△ 55	△ 55	△ 75	
4	H30	0.7599	-7	-	△ 424	13.0	△ 55	△ 55	△ 72	
5	R1	0.7903	-6	-	△ 424	13.0	△ 55	△ 55	△ 70	
6	R2	0.8219	-5	-	△ 424	23.0	△ 98	△ 98	△ 119	
7	R3	0.8548	-4	-	△ 424	34.0	△ 144	△ 144	△ 168	
8	R4	0.8890	-3	-	△ 424	48.0	△ 204	△ 204	△ 229	
9	R5	0.9246	-2	-	△ 424	59.0	△ 250	△ 250	△ 270	
10	R6	0.9615	-1	-	△ 424	70.0	△ 297	△ 297	△ 309	
11	R7	1.0000	0	-	△ 424	78.0	△ 331	△ 331	△ 331	評価年
12	R8	1.0400	1	-	△ 424	83.0	△ 352	△ 352	△ 338	
13	R9	1.0816	2	-	△ 424	89.0	△ 377	△ 377	△ 349	
14	R10	1.1249	3	-	△ 424	94.0	△ 399	△ 399	△ 355	完了年
15	R11	1.1699	4	-	△ 424	100.0	△ 424	△ 424	△ 362	
16	R12	1.2167	5	-	△ 424	100.0	△ 424	△ 424	△ 348	
17	R13	1.2653	6	-	△ 424	100.0	△ 424	△ 424	△ 335	
18	R14	1.3159	7	-	△ 424	100.0	△ 424	△ 424	△ 322	
19	R15	1.3686	8	-	△ 424	100.0	△ 424	△ 424	△ 310	
20	R16	1.4233	9	-	△ 424	100.0	△ 424	△ 424	△ 298	
21	R17	1.4802	10	-	△ 424	100.0	△ 424	△ 424	△ 286	
22	R18	1.5395	11	-	△ 424	100.0	△ 424	△ 424	△ 275	
23	R19	1.6010	12	-	△ 424	100.0	△ 424	△ 424	△ 265	
24	R20	1.6651	13	-	△ 424	100.0	△ 424	△ 424	△ 255	
25	R21	1.7317	14	-	△ 424	100.0	△ 424	△ 424	△ 245	
26	R22	1.8009	15	-	△ 424	100.0	△ 424	△ 424	△ 235	
27	R23	1.8730	16	-	△ 424	100.0	△ 424	△ 424	△ 226	
28	R24	1.9479	17	-	△ 424	100.0	△ 424	△ 424	△ 218	
29	R25	2.0258	18	-	△ 424	100.0	△ 424	△ 424	△ 209	
30	R26	2.1068	19	-	△ 424	100.0	△ 424	△ 424	△ 201	
31	R27	2.1911	20	-	△ 424	100.0	△ 424	△ 424	△ 194	
32	R28	2.2788	21	-	△ 424	100.0	△ 424	△ 424	△ 186	
33	R29	2.3699	22	-	△ 424	100.0	△ 424	△ 424	△ 179	
34	R30	2.4647	23	-	△ 424	100.0	△ 424	△ 424	△ 172	
35	R31	2.5633	24	-	△ 424	100.0	△ 424	△ 424	△ 165	
36	R32	2.6658	25	-	△ 424	100.0	△ 424	△ 424	△ 159	
37	R33	2.7725	26	-	△ 424	100.0	△ 424	△ 424	△ 153	
38	R34	2.8834	27	-	△ 424	100.0	△ 424	△ 424	△ 147	
39	R35	2.9987	28	-	△ 424	100.0	△ 424	△ 424	△ 141	
40	R36	3.1187	29	-	△ 424	100.0	△ 424	△ 424	△ 136	
41	R37	3.2434	30	-	△ 424	100.0	△ 424	△ 424	△ 131	
42	R38	3.3731	31	-	△ 424	100.0	△ 424	△ 424	△ 126	
43	R39	3.5081	32	-	△ 424	100.0	△ 424	△ 424	△ 121	
44	R40	3.6484	33	-	△ 424	100.0	△ 424	△ 424	△ 116	
45	R41	3.7943	34	-	△ 424	100.0	△ 424	△ 424	△ 112	
46	R42	3.9461	35	-	△ 424	100.0	△ 424	△ 424	△ 107	
47	R43	4.1039	36	-	△ 424	100.0	△ 424	△ 424	△ 103	
48	R44	4.2681	37	-	△ 424	100.0	△ 424	△ 424	△ 99	
49	R45	4.4388	38	-	△ 424	100.0	△ 424	△ 424	△ 96	
50	R46	4.6164	39	-	△ 424	100.0	△ 424	△ 424	△ 92	
51	R47	4.8010	40	-	△ 424	100.0	△ 424	△ 424	△ 88	
52	R48	4.9931	41	-	△ 424	100.0	△ 424	△ 424	△ 85	
53	R49	5.1928	42	-	△ 424	100.0	△ 424	△ 424	△ 82	
54	R50	5.4005	43	-	△ 424	100.0	△ 424	△ 424	△ 79	
合計(総便益額)									△ 10,174	

※経過年は評価年からの年数。

※小数点以下を四捨五入していることから、記載値は計算結果と合わない場合がある。

(4) 総便益額算出表-7

評価期間	年度	割引率 (1+割引率) ^t ①	経過年 (t)	営農経費節減効果<区画整理>					備考	
				更新に係る効果 年効果額 (千円) ②	新設及び機能向上分に 係る効果			計		
					年効果額 (千円) ③	効果発生割合 (%) ④	年効果額 (千円) ⑤=③×④			年効果額 (千円) ⑥=②+⑤
1	H27	0.6756	-10	-	4,204	0.0	0	0	0	着工年
2	H28	0.7026	-9	-	4,204	0.0	0	0	0	
3	H29	0.7307	-8	-	4,204	0.0	0	0	0	
4	H30	0.7599	-7	-	4,204	49.0	2,060	2,060	2,711	
5	R1	0.7903	-6	-	4,204	86.0	3,615	3,615	4,574	
6	R2	0.8219	-5	-	4,204	89.0	3,742	3,742	4,553	
7	R3	0.8548	-4	-	4,204	89.0	3,742	3,742	4,378	
8	R4	0.8890	-3	-	4,204	89.0	3,742	3,742	4,209	
9	R5	0.9246	-2	-	4,204	89.0	3,742	3,742	4,047	
10	R6	0.9615	-1	-	4,204	89.0	3,742	3,742	3,892	
11	R7	1.0000	0	-	4,204	89.0	3,742	3,742	3,742	評価年
12	R8	1.0400	1	-	4,204	92.0	3,868	3,868	3,719	
13	R9	1.0816	2	-	4,204	95.0	3,994	3,994	3,693	
14	R10	1.1249	3	-	4,204	97.0	4,078	4,078	3,625	完了年
15	R11	1.1699	4	-	4,204	100.0	4,204	4,204	3,593	
16	R12	1.2167	5	-	4,204	100.0	4,204	4,204	3,455	
17	R13	1.2653	6	-	4,204	100.0	4,204	4,204	3,323	
18	R14	1.3159	7	-	4,204	100.0	4,204	4,204	3,195	
19	R15	1.3686	8	-	4,204	100.0	4,204	4,204	3,072	
20	R16	1.4233	9	-	4,204	100.0	4,204	4,204	2,954	
21	R17	1.4802	10	-	4,204	100.0	4,204	4,204	2,840	
22	R18	1.5395	11	-	4,204	100.0	4,204	4,204	2,731	
23	R19	1.6010	12	-	4,204	100.0	4,204	4,204	2,626	
24	R20	1.6651	13	-	4,204	100.0	4,204	4,204	2,525	
25	R21	1.7317	14	-	4,204	100.0	4,204	4,204	2,428	
26	R22	1.8009	15	-	4,204	100.0	4,204	4,204	2,334	
27	R23	1.8730	16	-	4,204	100.0	4,204	4,204	2,245	
28	R24	1.9479	17	-	4,204	100.0	4,204	4,204	2,158	
29	R25	2.0258	18	-	4,204	100.0	4,204	4,204	2,075	
30	R26	2.1068	19	-	4,204	100.0	4,204	4,204	1,995	
31	R27	2.1911	20	-	4,204	100.0	4,204	4,204	1,919	
32	R28	2.2788	21	-	4,204	100.0	4,204	4,204	1,845	
33	R29	2.3699	22	-	4,204	100.0	4,204	4,204	1,774	
34	R30	2.4647	23	-	4,204	100.0	4,204	4,204	1,706	
35	R31	2.5633	24	-	4,204	100.0	4,204	4,204	1,640	
36	R32	2.6658	25	-	4,204	100.0	4,204	4,204	1,577	
37	R33	2.7725	26	-	4,204	100.0	4,204	4,204	1,516	
38	R34	2.8834	27	-	4,204	100.0	4,204	4,204	1,458	
39	R35	2.9987	28	-	4,204	100.0	4,204	4,204	1,402	
40	R36	3.1187	29	-	4,204	100.0	4,204	4,204	1,348	
41	R37	3.2434	30	-	4,204	100.0	4,204	4,204	1,296	
42	R38	3.3731	31	-	4,204	100.0	4,204	4,204	1,246	
43	R39	3.5081	32	-	4,204	100.0	4,204	4,204	1,198	
44	R40	3.6484	33	-	4,204	100.0	4,204	4,204	1,152	
45	R41	3.7943	34	-	4,204	100.0	4,204	4,204	1,108	
46	R42	3.9461	35	-	4,204	100.0	4,204	4,204	1,065	
47	R43	4.1039	36	-	4,204	100.0	4,204	4,204	1,024	
48	R44	4.2681	37	-	4,204	100.0	4,204	4,204	985	
49	R45	4.4388	38	-	4,204	100.0	4,204	4,204	947	
50	R46	4.6164	39	-	4,204	100.0	4,204	4,204	911	
51	R47	4.8010	40	-	4,204	100.0	4,204	4,204	876	
52	R48	4.9931	41	-	4,204	100.0	4,204	4,204	842	
53	R49	5.1928	42	-	4,204	100.0	4,204	4,204	810	
54	R50	5.4005	43	-	4,204	100.0	4,204	4,204	778	
合計(総便益額)									117,115	

※経過年は評価年からの年数。

※小数点以下を四捨五入していることから、記載値は計算結果と合わない場合がある。

(4) 総便益額算出表-8

評価期間	年度	割引率 (1+割引率) ^t ①	経過年 (t)	維持管理費節減効果<農業用排水施設>						備考
				更新に係る効果 年効果額 (千円) ②	新設及び機能向上分に 係る効果			計		
					年効果額 (千円) ③	効果発生割合 (%) ④	年効果額 (千円) ⑤=③×④	年効果額 (千円) ⑥=②+⑤	割引率 (千円) ⑦=⑥÷①	
1	H27	0.6756	-10	-	△ 8,134	0.0	0	0	0	着工年
2	H28	0.7026	-9	-	△ 8,134	5.0	△ 407	△ 407	△ 579	
3	H29	0.7307	-8	-	△ 8,134	13.0	△ 1,057	△ 1,057	△ 1,447	
4	H30	0.7599	-7	-	△ 8,134	13.0	△ 1,057	△ 1,057	△ 1,391	
5	R1	0.7903	-6	-	△ 8,134	13.0	△ 1,057	△ 1,057	△ 1,337	
6	R2	0.8219	-5	-	△ 8,134	23.0	△ 1,871	△ 1,871	△ 2,276	
7	R3	0.8548	-4	-	△ 8,134	34.0	△ 2,766	△ 2,766	△ 3,236	
8	R4	0.8890	-3	-	△ 8,134	48.0	△ 3,904	△ 3,904	△ 4,391	
9	R5	0.9246	-2	-	△ 8,134	59.0	△ 4,799	△ 4,799	△ 5,190	
10	R6	0.9615	-1	-	△ 8,134	70.0	△ 5,694	△ 5,694	△ 5,922	
11	R7	1.0000	0	-	△ 8,134	78.0	△ 6,345	△ 6,345	△ 6,345	評価年
12	R8	1.0400	1	-	△ 8,134	83.0	△ 6,751	△ 6,751	△ 6,491	
13	R9	1.0816	2	-	△ 8,134	89.0	△ 7,239	△ 7,239	△ 6,693	
14	R10	1.1249	3	-	△ 8,134	94.0	△ 7,646	△ 7,646	△ 6,797	完了年
15	R11	1.1699	4	-	△ 8,134	100.0	△ 8,134	△ 8,134	△ 6,953	
16	R12	1.2167	5	-	△ 8,134	100.0	△ 8,134	△ 8,134	△ 6,685	
17	R13	1.2653	6	-	△ 8,134	100.0	△ 8,134	△ 8,134	△ 6,429	
18	R14	1.3159	7	-	△ 8,134	100.0	△ 8,134	△ 8,134	△ 6,181	
19	R15	1.3686	8	-	△ 8,134	100.0	△ 8,134	△ 8,134	△ 5,943	
20	R16	1.4233	9	-	△ 8,134	100.0	△ 8,134	△ 8,134	△ 5,715	
21	R17	1.4802	10	-	△ 8,134	100.0	△ 8,134	△ 8,134	△ 5,495	
22	R18	1.5395	11	-	△ 8,134	100.0	△ 8,134	△ 8,134	△ 5,284	
23	R19	1.6010	12	-	△ 8,134	100.0	△ 8,134	△ 8,134	△ 5,081	
24	R20	1.6651	13	-	△ 8,134	100.0	△ 8,134	△ 8,134	△ 4,885	
25	R21	1.7317	14	-	△ 8,134	100.0	△ 8,134	△ 8,134	△ 4,697	
26	R22	1.8009	15	-	△ 8,134	100.0	△ 8,134	△ 8,134	△ 4,517	
27	R23	1.8730	16	-	△ 8,134	100.0	△ 8,134	△ 8,134	△ 4,343	
28	R24	1.9479	17	-	△ 8,134	100.0	△ 8,134	△ 8,134	△ 4,176	
29	R25	2.0258	18	-	△ 8,134	100.0	△ 8,134	△ 8,134	△ 4,015	
30	R26	2.1068	19	-	△ 8,134	100.0	△ 8,134	△ 8,134	△ 3,861	
31	R27	2.1911	20	-	△ 8,134	100.0	△ 8,134	△ 8,134	△ 3,712	
32	R28	2.2788	21	-	△ 8,134	100.0	△ 8,134	△ 8,134	△ 3,569	
33	R29	2.3699	22	-	△ 8,134	100.0	△ 8,134	△ 8,134	△ 3,432	
34	R30	2.4647	23	-	△ 8,134	100.0	△ 8,134	△ 8,134	△ 3,300	
35	R31	2.5633	24	-	△ 8,134	100.0	△ 8,134	△ 8,134	△ 3,173	
36	R32	2.6658	25	-	△ 8,134	100.0	△ 8,134	△ 8,134	△ 3,051	
37	R33	2.7725	26	-	△ 8,134	100.0	△ 8,134	△ 8,134	△ 2,934	
38	R34	2.8834	27	-	△ 8,134	100.0	△ 8,134	△ 8,134	△ 2,821	
39	R35	2.9987	28	-	△ 8,134	100.0	△ 8,134	△ 8,134	△ 2,713	
40	R36	3.1187	29	-	△ 8,134	100.0	△ 8,134	△ 8,134	△ 2,608	
41	R37	3.2434	30	-	△ 8,134	100.0	△ 8,134	△ 8,134	△ 2,508	
42	R38	3.3731	31	-	△ 8,134	100.0	△ 8,134	△ 8,134	△ 2,411	
43	R39	3.5081	32	-	△ 8,134	100.0	△ 8,134	△ 8,134	△ 2,319	
44	R40	3.6484	33	-	△ 8,134	100.0	△ 8,134	△ 8,134	△ 2,229	
45	R41	3.7943	34	-	△ 8,134	100.0	△ 8,134	△ 8,134	△ 2,144	
46	R42	3.9461	35	-	△ 8,134	100.0	△ 8,134	△ 8,134	△ 2,061	
47	R43	4.1039	36	-	△ 8,134	100.0	△ 8,134	△ 8,134	△ 1,982	
48	R44	4.2681	37	-	△ 8,134	100.0	△ 8,134	△ 8,134	△ 1,906	
49	R45	4.4388	38	-	△ 8,134	100.0	△ 8,134	△ 8,134	△ 1,832	
50	R46	4.6164	39	-	△ 8,134	100.0	△ 8,134	△ 8,134	△ 1,762	
51	R47	4.8010	40	-	△ 8,134	100.0	△ 8,134	△ 8,134	△ 1,694	
52	R48	4.9931	41	-	△ 8,134	100.0	△ 8,134	△ 8,134	△ 1,629	
53	R49	5.1928	42	-	△ 8,134	100.0	△ 8,134	△ 8,134	△ 1,566	
54	R50	5.4005	43	-	△ 8,134	100.0	△ 8,134	△ 8,134	△ 1,506	
合計(総便益額)									△ 195,217	

※経過年は評価年からの年数。

※小数点以下を四捨五入していることから、記載値は計算結果と合わない場合がある。

(4) 総便益額算出表-9

評価期間	年度	割引率 (1+割引率) ^t ①	経過年 (t)	維持管理費節減効果<区画整理>						備考
				更新に係る年効果額 (千円) ②	新設及び機能向上分に係る効果		計		左後 (千円) ⑦=⑥÷①	
					年効果額 (千円) ③	効果発生割合 (%) ④	年効果額 (千円) ⑤=③×④	年効果額 (千円) ⑥=②+⑤		
1	H27	0.6756	-10	△ 111	△ 966	0.0	0	△ 111	△ 164	着工年
2	H28	0.7026	-9	△ 111	△ 966	0.0	0	△ 111	△ 158	
3	H29	0.7307	-8	△ 111	△ 966	0.0	0	△ 111	△ 152	
4	H30	0.7599	-7	△ 111	△ 966	49.0	△ 473	△ 584	△ 769	
5	R1	0.7903	-6	△ 111	△ 966	86.0	△ 831	△ 942	△ 1,192	
6	R2	0.8219	-5	△ 111	△ 966	89.0	△ 860	△ 971	△ 1,181	
7	R3	0.8548	-4	△ 111	△ 966	89.0	△ 860	△ 971	△ 1,136	
8	R4	0.8890	-3	△ 111	△ 966	89.0	△ 860	△ 971	△ 1,092	
9	R5	0.9246	-2	△ 111	△ 966	89.0	△ 860	△ 971	△ 1,050	
10	R6	0.9615	-1	△ 111	△ 966	89.0	△ 860	△ 971	△ 1,010	
11	R7	1.0000	0	△ 111	△ 966	89.0	△ 860	△ 971	△ 971	評価年
12	R8	1.0400	1	△ 111	△ 966	92.0	△ 889	△ 1,000	△ 962	
13	R9	1.0816	2	△ 111	△ 966	95.0	△ 918	△ 1,029	△ 951	
14	R10	1.1249	3	△ 111	△ 966	97.0	△ 937	△ 1,048	△ 932	完了年
15	R11	1.1699	4	△ 111	△ 966	100.0	△ 966	△ 1,077	△ 921	
16	R12	1.2167	5	△ 111	△ 966	100.0	△ 966	△ 1,077	△ 885	
17	R13	1.2653	6	△ 111	△ 966	100.0	△ 966	△ 1,077	△ 851	
18	R14	1.3159	7	△ 111	△ 966	100.0	△ 966	△ 1,077	△ 818	
19	R15	1.3686	8	△ 111	△ 966	100.0	△ 966	△ 1,077	△ 787	
20	R16	1.4233	9	△ 111	△ 966	100.0	△ 966	△ 1,077	△ 757	
21	R17	1.4802	10	△ 111	△ 966	100.0	△ 966	△ 1,077	△ 728	
22	R18	1.5395	11	△ 111	△ 966	100.0	△ 966	△ 1,077	△ 700	
23	R19	1.6010	12	△ 111	△ 966	100.0	△ 966	△ 1,077	△ 673	
24	R20	1.6651	13	△ 111	△ 966	100.0	△ 966	△ 1,077	△ 647	
25	R21	1.7317	14	△ 111	△ 966	100.0	△ 966	△ 1,077	△ 622	
26	R22	1.8009	15	△ 111	△ 966	100.0	△ 966	△ 1,077	△ 598	
27	R23	1.8730	16	△ 111	△ 966	100.0	△ 966	△ 1,077	△ 575	
28	R24	1.9479	17	△ 111	△ 966	100.0	△ 966	△ 1,077	△ 553	
29	R25	2.0258	18	△ 111	△ 966	100.0	△ 966	△ 1,077	△ 532	
30	R26	2.1068	19	△ 111	△ 966	100.0	△ 966	△ 1,077	△ 511	
31	R27	2.1911	20	△ 111	△ 966	100.0	△ 966	△ 1,077	△ 492	
32	R28	2.2788	21	△ 111	△ 966	100.0	△ 966	△ 1,077	△ 473	
33	R29	2.3699	22	△ 111	△ 966	100.0	△ 966	△ 1,077	△ 454	
34	R30	2.4647	23	△ 111	△ 966	100.0	△ 966	△ 1,077	△ 437	
35	R31	2.5633	24	△ 111	△ 966	100.0	△ 966	△ 1,077	△ 420	
36	R32	2.6658	25	△ 111	△ 966	100.0	△ 966	△ 1,077	△ 404	
37	R33	2.7725	26	△ 111	△ 966	100.0	△ 966	△ 1,077	△ 388	
38	R34	2.8834	27	△ 111	△ 966	100.0	△ 966	△ 1,077	△ 374	
39	R35	2.9987	28	△ 111	△ 966	100.0	△ 966	△ 1,077	△ 359	
40	R36	3.1187	29	△ 111	△ 966	100.0	△ 966	△ 1,077	△ 345	
41	R37	3.2434	30	△ 111	△ 966	100.0	△ 966	△ 1,077	△ 332	
42	R38	3.3731	31	△ 111	△ 966	100.0	△ 966	△ 1,077	△ 319	
43	R39	3.5081	32	△ 111	△ 966	100.0	△ 966	△ 1,077	△ 307	
44	R40	3.6484	33	△ 111	△ 966	100.0	△ 966	△ 1,077	△ 295	
45	R41	3.7943	34	△ 111	△ 966	100.0	△ 966	△ 1,077	△ 284	
46	R42	3.9461	35	△ 111	△ 966	100.0	△ 966	△ 1,077	△ 273	
47	R43	4.1039	36	△ 111	△ 966	100.0	△ 966	△ 1,077	△ 262	
48	R44	4.2681	37	△ 111	△ 966	100.0	△ 966	△ 1,077	△ 252	
49	R45	4.4388	38	△ 111	△ 966	100.0	△ 966	△ 1,077	△ 243	
50	R46	4.6164	39	△ 111	△ 966	100.0	△ 966	△ 1,077	△ 233	
51	R47	4.8010	40	△ 111	△ 966	100.0	△ 966	△ 1,077	△ 224	
52	R48	4.9931	41	△ 111	△ 966	100.0	△ 966	△ 1,077	△ 216	
53	R49	5.1928	42	△ 111	△ 966	100.0	△ 966	△ 1,077	△ 207	
54	R50	5.4005	43	△ 111	△ 966	100.0	△ 966	△ 1,077	△ 199	
合計(総便益額)									△ 30,670	

※経過年は評価年からの年数。

※小数点以下を四捨五入していることから、記載値は計算結果と合わない場合がある。

(4) 総便益額算出表-10

評価期間	年度	割引率 (1+割引率) ^t ①	経過年 (t)	維持管理費節減効果<農道整備>							備考
				更新に係る年効果額 (千円) ②	新設及び機能向上分に係る効果		計				
					年効果額 (千円) ③	効果発生割合 (%) ④	年効果額 (千円) ⑤=③×④	年効果額 (千円) ⑥=②+⑤	割引率 (千円) ⑦=⑥÷①	左後	
1	H27	0.6756	-10	△ 51	20	0.0	0	△ 51	△ 75	着工年	
2	H28	0.7026	-9	△ 51	20	0.0	0	△ 51	△ 73		
3	H29	0.7307	-8	△ 51	20	0.0	0	△ 51	△ 70		
4	H30	0.7599	-7	△ 51	20	22.0	4	△ 47	△ 62		
5	R1	0.7903	-6	△ 51	20	39.0	8	△ 43	△ 54		
6	R2	0.8219	-5	△ 51	20	50.0	10	△ 41	△ 50		
7	R3	0.8548	-4	△ 51	20	50.0	10	△ 41	△ 48		
8	R4	0.8890	-3	△ 51	20	50.0	10	△ 41	△ 46		
9	R5	0.9246	-2	△ 51	20	50.0	10	△ 41	△ 44		
10	R6	0.9615	-1	△ 51	20	50.0	10	△ 41	△ 43		
11	R7	1.0000	0	△ 51	20	62.0	12	△ 39	△ 39	評価年	
12	R8	1.0400	1	△ 51	20	72.0	14	△ 37	△ 36		
13	R9	1.0816	2	△ 51	20	81.0	16	△ 35	△ 32		
14	R10	1.1249	3	△ 51	20	91.0	18	△ 33	△ 29	完了年	
15	R11	1.1699	4	△ 51	20	100.0	20	△ 31	△ 26		
16	R12	1.2167	5	△ 51	20	100.0	20	△ 31	△ 25		
17	R13	1.2653	6	△ 51	20	100.0	20	△ 31	△ 25		
18	R14	1.3159	7	△ 51	20	100.0	20	△ 31	△ 24		
19	R15	1.3686	8	△ 51	20	100.0	20	△ 31	△ 23		
20	R16	1.4233	9	△ 51	20	100.0	20	△ 31	△ 22		
21	R17	1.4802	10	△ 51	20	100.0	20	△ 31	△ 21		
22	R18	1.5395	11	△ 51	20	100.0	20	△ 31	△ 20		
23	R19	1.6010	12	△ 51	20	100.0	20	△ 31	△ 19		
24	R20	1.6651	13	△ 51	20	100.0	20	△ 31	△ 19		
25	R21	1.7317	14	△ 51	20	100.0	20	△ 31	△ 18		
26	R22	1.8009	15	△ 51	20	100.0	20	△ 31	△ 17		
27	R23	1.8730	16	△ 51	20	100.0	20	△ 31	△ 17		
28	R24	1.9479	17	△ 51	20	100.0	20	△ 31	△ 16		
29	R25	2.0258	18	△ 51	20	100.0	20	△ 31	△ 15		
30	R26	2.1068	19	△ 51	20	100.0	20	△ 31	△ 15		
31	R27	2.1911	20	△ 51	20	100.0	20	△ 31	△ 14		
32	R28	2.2788	21	△ 51	20	100.0	20	△ 31	△ 14		
33	R29	2.3699	22	△ 51	20	100.0	20	△ 31	△ 13		
34	R30	2.4647	23	△ 51	20	100.0	20	△ 31	△ 13		
35	R31	2.5633	24	△ 51	20	100.0	20	△ 31	△ 12		
36	R32	2.6658	25	△ 51	20	100.0	20	△ 31	△ 12		
37	R33	2.7725	26	△ 51	20	100.0	20	△ 31	△ 11		
38	R34	2.8834	27	△ 51	20	100.0	20	△ 31	△ 11		
39	R35	2.9987	28	△ 51	20	100.0	20	△ 31	△ 10		
40	R36	3.1187	29	△ 51	20	100.0	20	△ 31	△ 10		
41	R37	3.2434	30	△ 51	20	100.0	20	△ 31	△ 10		
42	R38	3.3731	31	△ 51	20	100.0	20	△ 31	△ 9		
43	R39	3.5081	32	△ 51	20	100.0	20	△ 31	△ 9		
44	R40	3.6484	33	△ 51	20	100.0	20	△ 31	△ 8		
45	R41	3.7943	34	△ 51	20	100.0	20	△ 31	△ 8		
46	R42	3.9461	35	△ 51	20	100.0	20	△ 31	△ 8		
47	R43	4.1039	36	△ 51	20	100.0	20	△ 31	△ 8		
48	R44	4.2681	37	△ 51	20	100.0	20	△ 31	△ 7		
49	R45	4.4388	38	△ 51	20	100.0	20	△ 31	△ 7		
50	R46	4.6164	39	△ 51	20	100.0	20	△ 31	△ 7		
51	R47	4.8010	40	△ 51	20	100.0	20	△ 31	△ 6		
52	R48	4.9931	41	△ 51	20	100.0	20	△ 31	△ 6		
53	R49	5.1928	42	△ 51	20	100.0	20	△ 31	△ 6		
54	R50	5.4005	43	△ 51	20	100.0	20	△ 31	△ 6		
合計 (総便益額)									△ 1,248		

※経過年は評価年からの年数。

※小数点以下を四捨五入していることから、記載値は計算結果と合わない場合がある。

(4) 総便益額算出表-11

評価期間	年度	割引率 (1+割引率) ^t ①	経過年 (t)	営農に係る走行経費節減効果<区画整理>						備考
				更新分に 係る効果 年効果額 (千円) ②	新設及び機能向上分 に係る効果		計		左 引 後 (千円) ⑦=⑥÷①	
					年効果額 (千円) ③	効果発生 割合 (%) ④	年効果 額 (千円) ⑤=③×④	年効果額 (千円) ⑥=②+⑤		
1	H27	0.6756	-10	20,601	963	0.0	0	20,601	30,493	着工年
2	H28	0.7026	-9	20,601	963	0.0	0	20,601	29,321	
3	H29	0.7307	-8	20,601	963	0.0	0	20,601	28,194	
4	H30	0.7599	-7	20,601	963	49.0	472	21,073	27,731	
5	R1	0.7903	-6	20,601	963	86.0	828	21,429	27,115	
6	R2	0.8219	-5	20,601	963	89.0	857	21,458	26,108	
7	R3	0.8548	-4	20,601	963	89.0	857	21,458	25,103	
8	R4	0.8890	-3	20,601	963	89.0	857	21,458	24,137	
9	R5	0.9246	-2	20,601	963	89.0	857	21,458	23,208	
10	R6	0.9615	-1	20,601	963	89.0	857	21,458	22,317	
11	R7	1.0000	0	20,601	963	89.0	857	21,458	21,458	評価年
12	R8	1.0400	1	20,601	963	92.0	886	21,487	20,661	
13	R9	1.0816	2	20,601	963	95.0	915	21,516	19,893	
14	R10	1.1249	3	20,601	963	97.0	934	21,535	19,144	完了年
15	R11	1.1699	4	20,601	963	100.0	963	21,564	18,432	
16	R12	1.2167	5	20,601	963	100.0	963	21,564	17,723	
17	R13	1.2653	6	20,601	963	100.0	963	21,564	17,043	
18	R14	1.3159	7	20,601	963	100.0	963	21,564	16,387	
19	R15	1.3686	8	20,601	963	100.0	963	21,564	15,756	
20	R16	1.4233	9	20,601	963	100.0	963	21,564	15,151	
21	R17	1.4802	10	20,601	963	100.0	963	21,564	14,568	
22	R18	1.5395	11	20,601	963	100.0	963	21,564	14,007	
23	R19	1.6010	12	20,601	963	100.0	963	21,564	13,469	
24	R20	1.6651	13	20,601	963	100.0	963	21,564	12,951	
25	R21	1.7317	14	20,601	963	100.0	963	21,564	12,453	
26	R22	1.8009	15	20,601	963	100.0	963	21,564	11,974	
27	R23	1.8730	16	20,601	963	100.0	963	21,564	11,513	
28	R24	1.9479	17	20,601	963	100.0	963	21,564	11,070	
29	R25	2.0258	18	20,601	963	100.0	963	21,564	10,645	
30	R26	2.1068	19	20,601	963	100.0	963	21,564	10,235	
31	R27	2.1911	20	20,601	963	100.0	963	21,564	9,842	
32	R28	2.2788	21	20,601	963	100.0	963	21,564	9,463	
33	R29	2.3699	22	20,601	963	100.0	963	21,564	9,099	
34	R30	2.4647	23	20,601	963	100.0	963	21,564	8,749	
35	R31	2.5633	24	20,601	963	100.0	963	21,564	8,413	
36	R32	2.6658	25	20,601	963	100.0	963	21,564	8,089	
37	R33	2.7725	26	20,601	963	100.0	963	21,564	7,778	
38	R34	2.8834	27	20,601	963	100.0	963	21,564	7,479	
39	R35	2.9987	28	20,601	963	100.0	963	21,564	7,191	
40	R36	3.1187	29	20,601	963	100.0	963	21,564	6,914	
41	R37	3.2434	30	20,601	963	100.0	963	21,564	6,649	
42	R38	3.3731	31	20,601	963	100.0	963	21,564	6,393	
43	R39	3.5081	32	20,601	963	100.0	963	21,564	6,147	
44	R40	3.6484	33	20,601	963	100.0	963	21,564	5,911	
45	R41	3.7943	34	20,601	963	100.0	963	21,564	5,683	
46	R42	3.9461	35	20,601	963	100.0	963	21,564	5,465	
47	R43	4.1039	36	20,601	963	100.0	963	21,564	5,255	
48	R44	4.2681	37	20,601	963	100.0	963	21,564	5,052	
49	R45	4.4388	38	20,601	963	100.0	963	21,564	4,858	
50	R46	4.6164	39	20,601	963	100.0	963	21,564	4,671	
51	R47	4.8010	40	20,601	963	100.0	963	21,564	4,492	
52	R48	4.9931	41	20,601	963	100.0	963	21,564	4,319	
53	R49	5.1928	42	20,601	963	100.0	963	21,564	4,153	
54	R50	5.4005	43	20,601	963	100.0	963	21,564	3,993	
合計(総便益額)									724,318	

※経過年は評価年からの年数。

※小数点以下を四捨五入していることから、記載値は計算結果と合わない場合がある。

(4) 総便益額算出表-12

評価期間	年度	割引率 (1+割引率) ^t ①	経過年 (t)	営農に係る走行経費節減効果<農道整備>						備考
				更新分に 係る効果 年効果額 (千円) ②	新設及び機能向上分 に係る効果			計		
					年効果額 (千円) ③	効果発生 割合 (%) ④	年発生 効果額 (千円) ⑤=③×④	年効果額 (千円) ⑥=②+⑤	同引左 割後 (千円) ⑦=⑥÷①	
1	H27	0.6756	-10	10,349	384	0.0	0	10,349	15,318	着工年
2	H28	0.7026	-9	10,349	384	0.0	0	10,349	14,730	
3	H29	0.7307	-8	10,349	384	0.0	0	10,349	14,163	
4	H30	0.7599	-7	10,349	384	22.0	84	10,433	13,729	
5	R1	0.7903	-6	10,349	384	39.0	150	10,499	13,285	
6	R2	0.8219	-5	10,349	384	50.0	192	10,541	12,825	
7	R3	0.8548	-4	10,349	384	50.0	192	10,541	12,332	
8	R4	0.8890	-3	10,349	384	50.0	192	10,541	11,857	
9	R5	0.9246	-2	10,349	384	50.0	192	10,541	11,401	
10	R6	0.9615	-1	10,349	384	50.0	192	10,541	10,963	
11	R7	1.0000	0	10,349	384	62.0	238	10,587	10,587	評価年
12	R8	1.0400	1	10,349	384	72.0	276	10,625	10,216	
13	R9	1.0816	2	10,349	384	81.0	311	10,660	9,856	
14	R10	1.1249	3	10,349	384	91.0	349	10,698	9,510	完了年
15	R11	1.1699	4	10,349	384	100.0	384	10,733	9,174	
16	R12	1.2167	5	10,349	384	100.0	384	10,733	8,821	
17	R13	1.2653	6	10,349	384	100.0	384	10,733	8,483	
18	R14	1.3159	7	10,349	384	100.0	384	10,733	8,156	
19	R15	1.3686	8	10,349	384	100.0	384	10,733	7,842	
20	R16	1.4233	9	10,349	384	100.0	384	10,733	7,541	
21	R17	1.4802	10	10,349	384	100.0	384	10,733	7,251	
22	R18	1.5395	11	10,349	384	100.0	384	10,733	6,972	
23	R19	1.6010	12	10,349	384	100.0	384	10,733	6,704	
24	R20	1.6651	13	10,349	384	100.0	384	10,733	6,446	
25	R21	1.7317	14	10,349	384	100.0	384	10,733	6,198	
26	R22	1.8009	15	10,349	384	100.0	384	10,733	5,960	
27	R23	1.8730	16	10,349	384	100.0	384	10,733	5,730	
28	R24	1.9479	17	10,349	384	100.0	384	10,733	5,510	
29	R25	2.0258	18	10,349	384	100.0	384	10,733	5,298	
30	R26	2.1068	19	10,349	384	100.0	384	10,733	5,094	
31	R27	2.1911	20	10,349	384	100.0	384	10,733	4,898	
32	R28	2.2788	21	10,349	384	100.0	384	10,733	4,710	
33	R29	2.3699	22	10,349	384	100.0	384	10,733	4,529	
34	R30	2.4647	23	10,349	384	100.0	384	10,733	4,355	
35	R31	2.5633	24	10,349	384	100.0	384	10,733	4,187	
36	R32	2.6658	25	10,349	384	100.0	384	10,733	4,026	
37	R33	2.7725	26	10,349	384	100.0	384	10,733	3,871	
38	R34	2.8834	27	10,349	384	100.0	384	10,733	3,722	
39	R35	2.9987	28	10,349	384	100.0	384	10,733	3,579	
40	R36	3.1187	29	10,349	384	100.0	384	10,733	3,441	
41	R37	3.2434	30	10,349	384	100.0	384	10,733	3,309	
42	R38	3.3731	31	10,349	384	100.0	384	10,733	3,182	
43	R39	3.5081	32	10,349	384	100.0	384	10,733	3,059	
44	R40	3.6484	33	10,349	384	100.0	384	10,733	2,942	
45	R41	3.7943	34	10,349	384	100.0	384	10,733	2,829	
46	R42	3.9461	35	10,349	384	100.0	384	10,733	2,720	
47	R43	4.1039	36	10,349	384	100.0	384	10,733	2,615	
48	R44	4.2681	37	10,349	384	100.0	384	10,733	2,515	
49	R45	4.4388	38	10,349	384	100.0	384	10,733	2,418	
50	R46	4.6164	39	10,349	384	100.0	384	10,733	2,325	
51	R47	4.8010	40	10,349	384	100.0	384	10,733	2,236	
52	R48	4.9931	41	10,349	384	100.0	384	10,733	2,150	
53	R49	5.1928	42	10,349	384	100.0	384	10,733	2,067	
54	R50	5.4005	43	10,349	384	100.0	384	10,733	1,987	
合計(総便益額)									359,624	

※経過年は評価年からの年数。

※小数点以下を四捨五入していることから、記載値は計算結果と合わない場合がある。

(4) 総便益額算出表-13

評価期間	年度	割引率 (1+割引率) ^t ①	経過年 (t)	農業労働環境改善効果						備考
				更新に係る年効果額 (千円) ②	新設及び機能向上分に係る効果			計		
					年効果額 (千円) ③	効果発生割合 (%) ④	年効果額 (千円) ⑤=③×④	年効果額 (千円) ⑥=②+⑤	同割引後 (千円) ⑦=⑥÷①	
1	H27	0.6756	-10	-	6,922	0.0	0	0	0	着工年
2	H28	0.7026	-9	-	6,922	5.0	346	346	492	
3	H29	0.7307	-8	-	6,922	13.0	900	900	1,232	
4	H30	0.7599	-7	-	6,922	13.0	900	900	1,184	
5	R1	0.7903	-6	-	6,922	13.0	900	900	1,139	
6	R2	0.8219	-5	-	6,922	23.0	1,592	1,592	1,937	
7	R3	0.8548	-4	-	6,922	34.0	2,353	2,353	2,753	
8	R4	0.8890	-3	-	6,922	48.0	3,323	3,323	3,738	
9	R5	0.9246	-2	-	6,922	59.0	4,084	4,084	4,417	
10	R6	0.9615	-1	-	6,922	70.0	4,845	4,845	5,039	
11	R7	1.0000	0	-	6,922	78.0	5,399	5,399	5,399	評価年
12	R8	1.0400	1	-	6,922	83.0	5,745	5,745	5,524	
13	R9	1.0816	2	-	6,922	89.0	6,161	6,161	5,696	
14	R10	1.1249	3	-	6,922	94.0	6,507	6,507	5,785	完了年
15	R11	1.1699	4	-	6,922	100.0	6,922	6,922	5,917	
16	R12	1.2167	5	-	6,922	100.0	6,922	6,922	5,689	
17	R13	1.2653	6	-	6,922	100.0	6,922	6,922	5,471	
18	R14	1.3159	7	-	6,922	100.0	6,922	6,922	5,260	
19	R15	1.3686	8	-	6,922	100.0	6,922	6,922	5,058	
20	R16	1.4233	9	-	6,922	100.0	6,922	6,922	4,863	
21	R17	1.4802	10	-	6,922	100.0	6,922	6,922	4,676	
22	R18	1.5395	11	-	6,922	100.0	6,922	6,922	4,496	
23	R19	1.6010	12	-	6,922	100.0	6,922	6,922	4,324	
24	R20	1.6651	13	-	6,922	100.0	6,922	6,922	4,157	
25	R21	1.7317	14	-	6,922	100.0	6,922	6,922	3,997	
26	R22	1.8009	15	-	6,922	100.0	6,922	6,922	3,844	
27	R23	1.8730	16	-	6,922	100.0	6,922	6,922	3,696	
28	R24	1.9479	17	-	6,922	100.0	6,922	6,922	3,554	
29	R25	2.0258	18	-	6,922	100.0	6,922	6,922	3,417	
30	R26	2.1068	19	-	6,922	100.0	6,922	6,922	3,286	
31	R27	2.1911	20	-	6,922	100.0	6,922	6,922	3,159	
32	R28	2.2788	21	-	6,922	100.0	6,922	6,922	3,038	
33	R29	2.3699	22	-	6,922	100.0	6,922	6,922	2,921	
34	R30	2.4647	23	-	6,922	100.0	6,922	6,922	2,808	
35	R31	2.5633	24	-	6,922	100.0	6,922	6,922	2,700	
36	R32	2.6658	25	-	6,922	100.0	6,922	6,922	2,597	
37	R33	2.7725	26	-	6,922	100.0	6,922	6,922	2,497	
38	R34	2.8834	27	-	6,922	100.0	6,922	6,922	2,401	
39	R35	2.9987	28	-	6,922	100.0	6,922	6,922	2,308	
40	R36	3.1187	29	-	6,922	100.0	6,922	6,922	2,220	
41	R37	3.2434	30	-	6,922	100.0	6,922	6,922	2,134	
42	R38	3.3731	31	-	6,922	100.0	6,922	6,922	2,052	
43	R39	3.5081	32	-	6,922	100.0	6,922	6,922	1,973	
44	R40	3.6484	33	-	6,922	100.0	6,922	6,922	1,897	
45	R41	3.7943	34	-	6,922	100.0	6,922	6,922	1,824	
46	R42	3.9461	35	-	6,922	100.0	6,922	6,922	1,754	
47	R43	4.1039	36	-	6,922	100.0	6,922	6,922	1,687	
48	R44	4.2681	37	-	6,922	100.0	6,922	6,922	1,622	
49	R45	4.4388	38	-	6,922	100.0	6,922	6,922	1,559	
50	R46	4.6164	39	-	6,922	100.0	6,922	6,922	1,499	
51	R47	4.8010	40	-	6,922	100.0	6,922	6,922	1,442	
52	R48	4.9931	41	-	6,922	100.0	6,922	6,922	1,386	
53	R49	5.1928	42	-	6,922	100.0	6,922	6,922	1,333	
54	R50	5.4005	43	-	6,922	100.0	6,922	6,922	1,282	
合計(総便益額)									166,133	

※経過年は評価年からの年数。

※小数点以下を四捨五入していることから、記載値は計算結果と合わない場合がある。

(4) 総便益額算出表-14

評価期間	年度	割引率 (1+割引率) ^t ①	経過年 (t)	地籍確定効果						備考
				更新に係る年効果額 (千円) ②	新設及び機能向上分に係る効果			計		
					年効果額 (千円) ③	効果発生割合 (%) ④	年効果額 (千円) ⑤=③×④	年効果額 (千円) ⑥=②+⑤	割引率 (千円) ⑦=⑥÷①	
1	H27	0.6756	-10	-	15	0.0	0	0	0	着工年
2	H28	0.7026	-9	-	15	0.0	0	0	0	
3	H29	0.7307	-8	-	15	0.0	0	0	0	
4	H30	0.7599	-7	-	15	49.0	7	7	9	
5	R1	0.7903	-6	-	15	86.0	13	13	16	
6	R2	0.8219	-5	-	15	89.0	13	13	16	
7	R3	0.8548	-4	-	15	89.0	13	13	15	
8	R4	0.8890	-3	-	15	89.0	13	13	15	
9	R5	0.9246	-2	-	15	89.0	13	13	14	
10	R6	0.9615	-1	-	15	89.0	13	13	14	
11	R7	1.0000	0	-	15	89.0	13	13	13	評価年
12	R8	1.0400	1	-	15	92.0	14	14	13	
13	R9	1.0816	2	-	15	95.0	14	14	13	
14	R10	1.1249	3	-	15	97.0	15	15	13	完了年
15	R11	1.1699	4	-	15	100.0	15	15	13	
16	R12	1.2167	5	-	15	100.0	15	15	12	
17	R13	1.2653	6	-	15	100.0	15	15	12	
18	R14	1.3159	7	-	15	100.0	15	15	11	
19	R15	1.3686	8	-	15	100.0	15	15	11	
20	R16	1.4233	9	-	15	100.0	15	15	11	
21	R17	1.4802	10	-	15	100.0	15	15	10	
22	R18	1.5395	11	-	15	100.0	15	15	10	
23	R19	1.6010	12	-	15	100.0	15	15	9	
24	R20	1.6651	13	-	15	100.0	15	15	9	
25	R21	1.7317	14	-	15	100.0	15	15	9	
26	R22	1.8009	15	-	15	100.0	15	15	8	
27	R23	1.8730	16	-	15	100.0	15	15	8	
28	R24	1.9479	17	-	15	100.0	15	15	8	
29	R25	2.0258	18	-	15	100.0	15	15	7	
30	R26	2.1068	19	-	15	100.0	15	15	7	
31	R27	2.1911	20	-	15	100.0	15	15	7	
32	R28	2.2788	21	-	15	100.0	15	15	7	
33	R29	2.3699	22	-	15	100.0	15	15	6	
34	R30	2.4647	23	-	15	100.0	15	15	6	
35	R31	2.5633	24	-	15	100.0	15	15	6	
36	R32	2.6658	25	-	15	100.0	15	15	6	
37	R33	2.7725	26	-	15	100.0	15	15	5	
38	R34	2.8834	27	-	15	100.0	15	15	5	
39	R35	2.9987	28	-	15	100.0	15	15	5	
40	R36	3.1187	29	-	15	100.0	15	15	5	
41	R37	3.2434	30	-	15	100.0	15	15	5	
42	R38	3.3731	31	-	15	100.0	15	15	4	
43	R39	3.5081	32	-	15	100.0	15	15	4	
44	R40	3.6484	33	-	15	100.0	15	15	4	
45	R41	3.7943	34	-	15	100.0	15	15	4	
46	R42	3.9461	35	-	15	100.0	15	15	4	
47	R43	4.1039	36	-	15	100.0	15	15	4	
48	R44	4.2681	37	-	15	100.0	15	15	4	
49	R45	4.4388	38	-	15	100.0	15	15	3	
50	R46	4.6164	39	-	15	100.0	15	15	3	
51	R47	4.8010	40	-	15	100.0	15	15	3	
52	R48	4.9931	41	-	15	100.0	15	15	3	
53	R49	5.1928	42	-	15	100.0	15	15	3	
54	R50	5.4005	43	-	15	100.0	15	15	3	
合計(総便益額)									415	

※経過年は評価年からの年数。

※小数点以下を四捨五入していることから、記載値は計算結果と合わない場合がある。

(4) 総便益額算出表-15

評価期間	年度	割引率 (1+割引率) ^t ①	経過年 (t)	景観・環境保全効果<農業用排水施設>						備考
				更新に係る効果 年効果額 (千円) ②	新設及び機能向上分に 係る効果			計		
					年効果額 (千円) ③	効果発生割合 (%) ④	年効果額 (千円) ⑤=③×④	年効果額 (千円) ⑥=②+⑤	割引率 (千円) ⑦=⑥÷①	
1	H27	0.6756	-10	-	11,125	0.0	0	0	0	着工年
2	H28	0.7026	-9	-	11,125	5.0	556	556	791	
3	H29	0.7307	-8	-	11,125	13.0	1,446	1,446	1,979	
4	H30	0.7599	-7	-	11,125	13.0	1,446	1,446	1,903	
5	R1	0.7903	-6	-	11,125	13.0	1,446	1,446	1,830	
6	R2	0.8219	-5	-	11,125	23.0	2,559	2,559	3,114	
7	R3	0.8548	-4	-	11,125	34.0	3,783	3,783	4,426	
8	R4	0.8890	-3	-	11,125	48.0	5,340	5,340	6,007	
9	R5	0.9246	-2	-	11,125	59.0	6,564	6,564	7,099	
10	R6	0.9615	-1	-	11,125	70.0	7,788	7,788	8,100	
11	R7	1.0000	0	-	11,125	78.0	8,678	8,678	8,678	評価年
12	R8	1.0400	1	-	11,125	83.0	9,234	9,234	8,879	
13	R9	1.0816	2	-	11,125	89.0	9,901	9,901	9,154	
14	R10	1.1249	3	-	11,125	94.0	10,458	10,458	9,297	完了年
15	R11	1.1699	4	-	11,125	100.0	11,125	11,125	9,509	
16	R12	1.2167	5	-	11,125	100.0	11,125	11,125	9,144	
17	R13	1.2653	6	-	11,125	100.0	11,125	11,125	8,792	
18	R14	1.3159	7	-	11,125	100.0	11,125	11,125	8,454	
19	R15	1.3686	8	-	11,125	100.0	11,125	11,125	8,129	
20	R16	1.4233	9	-	11,125	100.0	11,125	11,125	7,816	
21	R17	1.4802	10	-	11,125	100.0	11,125	11,125	7,516	
22	R18	1.5395	11	-	11,125	100.0	11,125	11,125	7,226	
23	R19	1.6010	12	-	11,125	100.0	11,125	11,125	6,949	
24	R20	1.6651	13	-	11,125	100.0	11,125	11,125	6,681	
25	R21	1.7317	14	-	11,125	100.0	11,125	11,125	6,424	
26	R22	1.8009	15	-	11,125	100.0	11,125	11,125	6,177	
27	R23	1.8730	16	-	11,125	100.0	11,125	11,125	5,940	
28	R24	1.9479	17	-	11,125	100.0	11,125	11,125	5,711	
29	R25	2.0258	18	-	11,125	100.0	11,125	11,125	5,492	
30	R26	2.1068	19	-	11,125	100.0	11,125	11,125	5,281	
31	R27	2.1911	20	-	11,125	100.0	11,125	11,125	5,077	
32	R28	2.2788	21	-	11,125	100.0	11,125	11,125	4,882	
33	R29	2.3699	22	-	11,125	100.0	11,125	11,125	4,694	
34	R30	2.4647	23	-	11,125	100.0	11,125	11,125	4,514	
35	R31	2.5633	24	-	11,125	100.0	11,125	11,125	4,340	
36	R32	2.6658	25	-	11,125	100.0	11,125	11,125	4,173	
37	R33	2.7725	26	-	11,125	100.0	11,125	11,125	4,013	
38	R34	2.8834	27	-	11,125	100.0	11,125	11,125	3,858	
39	R35	2.9987	28	-	11,125	100.0	11,125	11,125	3,710	
40	R36	3.1187	29	-	11,125	100.0	11,125	11,125	3,567	
41	R37	3.2434	30	-	11,125	100.0	11,125	11,125	3,430	
42	R38	3.3731	31	-	11,125	100.0	11,125	11,125	3,298	
43	R39	3.5081	32	-	11,125	100.0	11,125	11,125	3,171	
44	R40	3.6484	33	-	11,125	100.0	11,125	11,125	3,049	
45	R41	3.7943	34	-	11,125	100.0	11,125	11,125	2,932	
46	R42	3.9461	35	-	11,125	100.0	11,125	11,125	2,819	
47	R43	4.1039	36	-	11,125	100.0	11,125	11,125	2,711	
48	R44	4.2681	37	-	11,125	100.0	11,125	11,125	2,607	
49	R45	4.4388	38	-	11,125	100.0	11,125	11,125	2,506	
50	R46	4.6164	39	-	11,125	100.0	11,125	11,125	2,410	
51	R47	4.8010	40	-	11,125	100.0	11,125	11,125	2,317	
52	R48	4.9931	41	-	11,125	100.0	11,125	11,125	2,228	
53	R49	5.1928	42	-	11,125	100.0	11,125	11,125	2,142	
54	R50	5.4005	43	-	11,125	100.0	11,125	11,125	2,060	
合計(総便益額)									267,006	

※経過年は評価年からの年数。

※小数点以下を四捨五入していることから、記載値は計算結果と合わない場合がある。

(4) 総便益額算出表-16

評価期間	年度	割引率 (1+割引率) ^t ①	経過年 (t)	景観・環境保全効果<区画整理>						備考
				更新分に 係る効果 年効果額 (千円) ②	新設及び機能向上分 に係る効果			計		
					年効果額 (千円) ③	効果発生 割合 (%) ④	年発生 効果額 (千円) ⑤=③×④	年効果額 (千円) ⑥=②+⑤	同引左 割後 (千円) ⑦=⑥÷①	
1	H27	0.6756	-10	-	19,694	0.0	0	0	0	着工年
2	H28	0.7026	-9	-	19,694	0.0	0	0	0	
3	H29	0.7307	-8	-	19,694	0.0	0	0	0	
4	H30	0.7599	-7	-	19,694	0.0	0	0	0	
5	R1	0.7903	-6	-	19,694	0.0	0	0	0	
6	R2	0.8219	-5	-	19,694	0.0	0	0	0	
7	R3	0.8548	-4	-	19,694	0.0	0	0	0	
8	R4	0.8890	-3	-	19,694	0.0	0	0	0	
9	R5	0.9246	-2	-	19,694	0.0	0	0	0	
10	R6	0.9615	-1	-	19,694	0.0	0	0	0	
11	R7	1.0000	0	-	19,694	0.0	0	0	0	評価年
12	R8	1.0400	1	-	19,694	0.0	0	0	0	
13	R9	1.0816	2	-	19,694	0.0	0	0	0	
14	R10	1.1249	3	-	19,694	0.0	0	0	0	完了年
15	R11	1.1699	4	-	19,694	100.0	19,694	19,694	16,834	
16	R12	1.2167	5	-	19,694	100.0	19,694	19,694	16,186	
17	R13	1.2653	6	-	19,694	100.0	19,694	19,694	15,565	
18	R14	1.3159	7	-	19,694	100.0	19,694	19,694	14,966	
19	R15	1.3686	8	-	19,694	100.0	19,694	19,694	14,390	
20	R16	1.4233	9	-	19,694	100.0	19,694	19,694	13,837	
21	R17	1.4802	10	-	19,694	100.0	19,694	19,694	13,305	
22	R18	1.5395	11	-	19,694	100.0	19,694	19,694	12,792	
23	R19	1.6010	12	-	19,694	100.0	19,694	19,694	12,301	
24	R20	1.6651	13	-	19,694	100.0	19,694	19,694	11,828	
25	R21	1.7317	14	-	19,694	0.0	0	0	0	
26	R22	1.8009	15	-	19,694	0.0	0	0	0	
27	R23	1.8730	16	-	19,694	0.0	0	0	0	
28	R24	1.9479	17	-	19,694	0.0	0	0	0	
29	R25	2.0258	18	-	19,694	0.0	0	0	0	
30	R26	2.1068	19	-	19,694	0.0	0	0	0	
31	R27	2.1911	20	-	19,694	0.0	0	0	0	
32	R28	2.2788	21	-	19,694	0.0	0	0	0	
33	R29	2.3699	22	-	19,694	0.0	0	0	0	
34	R30	2.4647	23	-	19,694	0.0	0	0	0	
35	R31	2.5633	24	-	19,694	0.0	0	0	0	
36	R32	2.6658	25	-	19,694	0.0	0	0	0	
37	R33	2.7725	26	-	19,694	0.0	0	0	0	
38	R34	2.8834	27	-	19,694	0.0	0	0	0	
39	R35	2.9987	28	-	19,694	0.0	0	0	0	
40	R36	3.1187	29	-	19,694	0.0	0	0	0	
41	R37	3.2434	30	-	19,694	0.0	0	0	0	
42	R38	3.3731	31	-	19,694	0.0	0	0	0	
43	R39	3.5081	32	-	19,694	0.0	0	0	0	
44	R40	3.6484	33	-	19,694	0.0	0	0	0	
45	R41	3.7943	34	-	19,694	0.0	0	0	0	
46	R42	3.9461	35	-	19,694	0.0	0	0	0	
47	R43	4.1039	36	-	19,694	0.0	0	0	0	
48	R44	4.2681	37	-	19,694	0.0	0	0	0	
49	R45	4.4388	38	-	19,694	0.0	0	0	0	
50	R46	4.6164	39	-	19,694	0.0	0	0	0	
51	R47	4.8010	40	-	19,694	0.0	0	0	0	
52	R48	4.9931	41	-	19,694	0.0	0	0	0	
53	R49	5.1928	42	-	19,694	0.0	0	0	0	
54	R50	5.4005	43	-	19,694	0.0	0	0	0	
合計(総便益額)									142,004	

※経過年は評価年からの年数。

※小数点以下を四捨五入していることから、記載値は計算結果と合わない場合がある。

(4) 総便益額算出表-17

評価期間	年度	割引率 (1+割引率) ^t ①	経過年 (t)	国産農産物安定供給効果<農業用排水施設>						備考
				更新に係る効果 年効果額 (千円) ②	新設及び機能向上分に 係る効果			計		
					年効果額 (千円) ③	効果発生割合 (%) ④	年効果額 (千円) ⑤=③×④	年効果額 (千円) ⑥=②+⑤	同引左後 (千円) ⑦=⑥÷①	
1	H27	0.6756	-10	-	26,040	0.0	0	0	0	着工年
2	H28	0.7026	-9	-	26,040	5.0	1,302	1,302	1,853	
3	H29	0.7307	-8	-	26,040	13.0	3,385	3,385	4,633	
4	H30	0.7599	-7	-	26,040	13.0	3,385	3,385	4,455	
5	R1	0.7903	-6	-	26,040	13.0	3,385	3,385	4,283	
6	R2	0.8219	-5	-	26,040	23.0	5,989	5,989	7,287	
7	R3	0.8548	-4	-	26,040	34.0	8,854	8,854	10,358	
8	R4	0.8890	-3	-	26,040	48.0	12,499	12,499	14,060	
9	R5	0.9246	-2	-	26,040	59.0	15,364	15,364	16,617	
10	R6	0.9615	-1	-	26,040	70.0	18,228	18,228	18,958	
11	R7	1.0000	0	-	26,040	78.0	20,311	20,311	20,311	評価年
12	R8	1.0400	1	-	26,040	83.0	21,613	21,613	20,782	
13	R9	1.0816	2	-	26,040	89.0	23,176	23,176	21,428	
14	R10	1.1249	3	-	26,040	94.0	24,478	24,478	21,760	完了年
15	R11	1.1699	4	-	26,040	100.0	26,040	26,040	22,258	
16	R12	1.2167	5	-	26,040	100.0	26,040	26,040	21,402	
17	R13	1.2653	6	-	26,040	100.0	26,040	26,040	20,580	
18	R14	1.3159	7	-	26,040	100.0	26,040	26,040	19,789	
19	R15	1.3686	8	-	26,040	100.0	26,040	26,040	19,027	
20	R16	1.4233	9	-	26,040	100.0	26,040	26,040	18,296	
21	R17	1.4802	10	-	26,040	100.0	26,040	26,040	17,592	
22	R18	1.5395	11	-	26,040	100.0	26,040	26,040	16,915	
23	R19	1.6010	12	-	26,040	100.0	26,040	26,040	16,265	
24	R20	1.6651	13	-	26,040	100.0	26,040	26,040	15,639	
25	R21	1.7317	14	-	26,040	100.0	26,040	26,040	15,037	
26	R22	1.8009	15	-	26,040	100.0	26,040	26,040	14,459	
27	R23	1.8730	16	-	26,040	100.0	26,040	26,040	13,903	
28	R24	1.9479	17	-	26,040	100.0	26,040	26,040	13,368	
29	R25	2.0258	18	-	26,040	100.0	26,040	26,040	12,854	
30	R26	2.1068	19	-	26,040	100.0	26,040	26,040	12,360	
31	R27	2.1911	20	-	26,040	100.0	26,040	26,040	11,884	
32	R28	2.2788	21	-	26,040	100.0	26,040	26,040	11,427	
33	R29	2.3699	22	-	26,040	100.0	26,040	26,040	10,988	
34	R30	2.4647	23	-	26,040	100.0	26,040	26,040	10,565	
35	R31	2.5633	24	-	26,040	100.0	26,040	26,040	10,159	
36	R32	2.6658	25	-	26,040	100.0	26,040	26,040	9,768	
37	R33	2.7725	26	-	26,040	100.0	26,040	26,040	9,392	
38	R34	2.8834	27	-	26,040	100.0	26,040	26,040	9,031	
39	R35	2.9987	28	-	26,040	100.0	26,040	26,040	8,684	
40	R36	3.1187	29	-	26,040	100.0	26,040	26,040	8,350	
41	R37	3.2434	30	-	26,040	100.0	26,040	26,040	8,029	
42	R38	3.3731	31	-	26,040	100.0	26,040	26,040	7,720	
43	R39	3.5081	32	-	26,040	100.0	26,040	26,040	7,423	
44	R40	3.6484	33	-	26,040	100.0	26,040	26,040	7,137	
45	R41	3.7943	34	-	26,040	100.0	26,040	26,040	6,863	
46	R42	3.9461	35	-	26,040	100.0	26,040	26,040	6,599	
47	R43	4.1039	36	-	26,040	100.0	26,040	26,040	6,345	
48	R44	4.2681	37	-	26,040	100.0	26,040	26,040	6,101	
49	R45	4.4388	38	-	26,040	100.0	26,040	26,040	5,866	
50	R46	4.6164	39	-	26,040	100.0	26,040	26,040	5,641	
51	R47	4.8010	40	-	26,040	100.0	26,040	26,040	5,424	
52	R48	4.9931	41	-	26,040	100.0	26,040	26,040	5,215	
53	R49	5.1928	42	-	26,040	100.0	26,040	26,040	5,015	
54	R50	5.4005	43	-	26,040	100.0	26,040	26,040	4,822	
合計(総便益額)									624,977	

※経過年は評価年からの年数。

※小数点以下を四捨五入していることから、記載値は計算結果と合わない場合がある。

(4) 総便益額算出表-18

評価期間	年度	割引率 (1+割引率) ^t ①	経過年 (t)	国産農産物安定供給効果<区画整理>						備考
				更新に係る効果 年効果額 (千円) ②	新設及び機能向上分に 係る効果			計		
					年効果額 (千円) ③	効果発生割合 (%) ④	年効果額 (千円) ⑤=③×④	年効果額 (千円) ⑥=②+⑤	同割引後 (千円) ⑦=⑥÷①	
1	H27	0.6756	-10	-	1,266	0.0	0	0	0	着工年
2	H28	0.7026	-9	-	1,266	0.0	0	0	0	
3	H29	0.7307	-8	-	1,266	0.0	0	0	0	
4	H30	0.7599	-7	-	1,266	49.0	620	620	816	
5	R1	0.7903	-6	-	1,266	86.0	1,089	1,089	1,378	
6	R2	0.8219	-5	-	1,266	89.0	1,127	1,127	1,371	
7	R3	0.8548	-4	-	1,266	89.0	1,127	1,127	1,318	
8	R4	0.8890	-3	-	1,266	89.0	1,127	1,127	1,268	
9	R5	0.9246	-2	-	1,266	89.0	1,127	1,127	1,219	
10	R6	0.9615	-1	-	1,266	89.0	1,127	1,127	1,172	
11	R7	1.0000	0	-	1,266	89.0	1,127	1,127	1,127	評価年
12	R8	1.0400	1	-	1,266	92.0	1,165	1,165	1,120	
13	R9	1.0816	2	-	1,266	95.0	1,203	1,203	1,112	
14	R10	1.1249	3	-	1,266	97.0	1,228	1,228	1,092	完了年
15	R11	1.1699	4	-	1,266	100.0	1,266	1,266	1,082	
16	R12	1.2167	5	-	1,266	100.0	1,266	1,266	1,041	
17	R13	1.2653	6	-	1,266	100.0	1,266	1,266	1,001	
18	R14	1.3159	7	-	1,266	100.0	1,266	1,266	962	
19	R15	1.3686	8	-	1,266	100.0	1,266	1,266	925	
20	R16	1.4233	9	-	1,266	100.0	1,266	1,266	889	
21	R17	1.4802	10	-	1,266	100.0	1,266	1,266	855	
22	R18	1.5395	11	-	1,266	100.0	1,266	1,266	822	
23	R19	1.6010	12	-	1,266	100.0	1,266	1,266	791	
24	R20	1.6651	13	-	1,266	100.0	1,266	1,266	760	
25	R21	1.7317	14	-	1,266	100.0	1,266	1,266	731	
26	R22	1.8009	15	-	1,266	100.0	1,266	1,266	703	
27	R23	1.8730	16	-	1,266	100.0	1,266	1,266	676	
28	R24	1.9479	17	-	1,266	100.0	1,266	1,266	650	
29	R25	2.0258	18	-	1,266	100.0	1,266	1,266	625	
30	R26	2.1068	19	-	1,266	100.0	1,266	1,266	601	
31	R27	2.1911	20	-	1,266	100.0	1,266	1,266	578	
32	R28	2.2788	21	-	1,266	100.0	1,266	1,266	556	
33	R29	2.3699	22	-	1,266	100.0	1,266	1,266	534	
34	R30	2.4647	23	-	1,266	100.0	1,266	1,266	514	
35	R31	2.5633	24	-	1,266	100.0	1,266	1,266	494	
36	R32	2.6658	25	-	1,266	100.0	1,266	1,266	475	
37	R33	2.7725	26	-	1,266	100.0	1,266	1,266	457	
38	R34	2.8834	27	-	1,266	100.0	1,266	1,266	439	
39	R35	2.9987	28	-	1,266	100.0	1,266	1,266	422	
40	R36	3.1187	29	-	1,266	100.0	1,266	1,266	406	
41	R37	3.2434	30	-	1,266	100.0	1,266	1,266	390	
42	R38	3.3731	31	-	1,266	100.0	1,266	1,266	375	
43	R39	3.5081	32	-	1,266	100.0	1,266	1,266	361	
44	R40	3.6484	33	-	1,266	100.0	1,266	1,266	347	
45	R41	3.7943	34	-	1,266	100.0	1,266	1,266	334	
46	R42	3.9461	35	-	1,266	100.0	1,266	1,266	321	
47	R43	4.1039	36	-	1,266	100.0	1,266	1,266	308	
48	R44	4.2681	37	-	1,266	100.0	1,266	1,266	297	
49	R45	4.4388	38	-	1,266	100.0	1,266	1,266	285	
50	R46	4.6164	39	-	1,266	100.0	1,266	1,266	274	
51	R47	4.8010	40	-	1,266	100.0	1,266	1,266	264	
52	R48	4.9931	41	-	1,266	100.0	1,266	1,266	254	
53	R49	5.1928	42	-	1,266	100.0	1,266	1,266	244	
54	R50	5.4005	43	-	1,266	100.0	1,266	1,266	234	
合計(総便益額)									35,270	

※経過年は評価年からの年数。

※小数点以下を四捨五入していることから、記載値は計算結果と合わない場合がある。

(4) 総便益額算出表-19

評価期間	年度	割引率 (1+割引率) ^t ①	経過年 (t)	国産農産物安定供給効果〈土壌改良〉						備考
				更新に係る年効果額 (千円) ②	新設及び機能向上分に係る効果			計		
					年効果額 (千円) ③	効果発生割合 (%) ④	年効果額 (千円) ⑤=③×④	年効果額 (千円) ⑥=②+⑤	割引率 (千円) ⑦=⑥÷①	
1	H27	0.6756	-10	-	2,608	0.0	0	0	0	着工年
2	H28	0.7026	-9	-	2,608	0.0	0	0	0	
3	H29	0.7307	-8	-	2,608	0.0	0	0	0	
4	H30	0.7599	-7	-	2,608	0.0	0	0	0	
5	R1	0.7903	-6	-	2,608	0.0	0	0	0	
6	R2	0.8219	-5	-	2,608	0.0	0	0	0	
7	R3	0.8548	-4	-	2,608	0.0	0	0	0	
8	R4	0.8890	-3	-	2,608	1.0	26	26	29	
9	R5	0.9246	-2	-	2,608	1.0	26	26	28	
10	R6	0.9615	-1	-	2,608	1.0	26	26	27	
11	R7	1.0000	0	-	2,608	1.0	26	26	26	評価年
12	R8	1.0400	1	-	2,608	26.0	678	678	652	
13	R9	1.0816	2	-	2,608	50.0	1,304	1,304	1,206	
14	R10	1.1249	3	-	2,608	75.0	1,956	1,956	1,739	完了年
15	R11	1.1699	4	-	2,608	100.0	2,608	2,608	2,229	
16	R12	1.2167	5	-	2,608	100.0	2,608	2,608	2,144	
17	R13	1.2653	6	-	2,608	100.0	2,608	2,608	2,061	
18	R14	1.3159	7	-	2,608	100.0	2,608	2,608	1,982	
19	R15	1.3686	8	-	2,608	100.0	2,608	2,608	1,906	
20	R16	1.4233	9	-	2,608	100.0	2,608	2,608	1,832	
21	R17	1.4802	10	-	2,608	100.0	2,608	2,608	1,762	
22	R18	1.5395	11	-	2,608	100.0	2,608	2,608	1,694	
23	R19	1.6010	12	-	2,608	100.0	2,608	2,608	1,629	
24	R20	1.6651	13	-	2,608	100.0	2,608	2,608	1,566	
25	R21	1.7317	14	-	2,608	100.0	2,608	2,608	1,506	
26	R22	1.8009	15	-	2,608	100.0	2,608	2,608	1,448	
27	R23	1.8730	16	-	2,608	100.0	2,608	2,608	1,392	
28	R24	1.9479	17	-	2,608	100.0	2,608	2,608	1,339	
29	R25	2.0258	18	-	2,608	100.0	2,608	2,608	1,287	
30	R26	2.1068	19	-	2,608	100.0	2,608	2,608	1,238	
31	R27	2.1911	20	-	2,608	100.0	2,608	2,608	1,190	
32	R28	2.2788	21	-	2,608	100.0	2,608	2,608	1,144	
33	R29	2.3699	22	-	2,608	100.0	2,608	2,608	1,100	
34	R30	2.4647	23	-	2,608	100.0	2,608	2,608	1,058	
35	R31	2.5633	24	-	2,608	100.0	2,608	2,608	1,017	
36	R32	2.6658	25	-	2,608	100.0	2,608	2,608	978	
37	R33	2.7725	26	-	2,608	100.0	2,608	2,608	941	
38	R34	2.8834	27	-	2,608	100.0	2,608	2,608	904	
39	R35	2.9987	28	-	2,608	100.0	2,608	2,608	870	
40	R36	3.1187	29	-	2,608	100.0	2,608	2,608	836	
41	R37	3.2434	30	-	2,608	100.0	2,608	2,608	804	
42	R38	3.3731	31	-	2,608	100.0	2,608	2,608	773	
43	R39	3.5081	32	-	2,608	100.0	2,608	2,608	743	
44	R40	3.6484	33	-	2,608	100.0	2,608	2,608	715	
45	R41	3.7943	34	-	2,608	100.0	2,608	2,608	687	
46	R42	3.9461	35	-	2,608	100.0	2,608	2,608	661	
47	R43	4.1039	36	-	2,608	100.0	2,608	2,608	635	
48	R44	4.2681	37	-	2,608	100.0	2,608	2,608	611	
49	R45	4.4388	38	-	2,608	100.0	2,608	2,608	588	
50	R46	4.6164	39	-	2,608	100.0	2,608	2,608	565	
51	R47	4.8010	40	-	2,608	100.0	2,608	2,608	543	
52	R48	4.9931	41	-	2,608	100.0	2,608	2,608	522	
53	R49	5.1928	42	-	2,608	100.0	2,608	2,608	502	
54	R50	5.4005	43	-	2,608	100.0	2,608	2,608	483	
合計(総便益額)									49,592	

※経過年は評価年からの年数。

※小数点以下を四捨五入していることから、記載値は計算結果と合わない場合がある。

2 年効果額の算定方法

(1) 作物生産効果

○効果の考え方

事業を実施した場合（事業ありせば）と事業を実施しなかった場合（事業なかりせば）の農作物生産量の比較により年効果額を算定した。

○対象作物

さとうきび(春植、夏植、株出、新夏植)、茶、にがうり、ソリダゴ、マンゴー、ローズグラス
ばれいしょ、さといも、かぼちゃ、にんじん、しょうが

○年効果額算定式

年効果額＝単収増加年効果額^{※1}＋作付増減年効果額^{※2}

※1 単収増加年効果額＝作付面積 × (事業ありせば単収－事業なかりせば単収)
× 単価 × 単収増加の純益率

※2 作付増減年効果額＝(事業ありせば作付面積－事業なかりせば作付面積)
× 単収 × 単価 × 作付増減の純益率

○年効果額の算定

(農業用排水施設)

作物名	新設・更新	作付面積		効果発生面積 ①	効果要因	単 収			生産増減量 ③＝ ①×② ÷100	生産物単価 ④	増加粗収益額 ⑤＝ ③×④	純益率 ⑥	年効果額 ⑦＝⑤× ⑥÷100
		現況	計画			事業なかりせば単収	事業ありせば単収	効果算定対象単収					
さとうきび(春植)	新設	12.9	8.7	8.7	単収増(塩害防止)	4,759	4,949	190	16.5	25	413	92	380
				8.7	単収増(湿潤かんがい)	4,949	7,572	2,623	228.2	25	5,705	92	5,249
				△4.2	作付減	-	-	4,759	△199.9	25	△4,998	23	△1,150
					さとうきび(春植)計						1,120		4,479
さとうきび(夏植)	新設	11.1	7.8	7.8	単収増(塩害防止)	6,311	6,564	253	19.7	25	493	92	454
				7.8	単収増(湿潤かんがい)	6,564	10,043	3,479	271.4	25	6,785	92	6,242
				△3.3	作付減	-	-	6,311	△208.3	25	△5,208	29	△1,510
					さとうきび(夏植)計						2,070		5,186
さとうきび(株出)	新設	33.1	25.4	25.4	単収増(塩害防止)	4,845	5,039	194	49.3	25	1,233	95	1,171
				25.4	単収増(湿潤かんがい)	5,039	7,710	2,671	678.4	25	16,960	95	16,112
				△7.7	作付減	-	-	4,845	△373.1	25	△9,328	50	△4,664
					さとうきび(株出)計						8,865		12,619
さとうきび(新夏植)	新設	12.7	7.8	△4.9	作付減	-	-	0	0.0	25	0	-	-
					さとうきび(新夏植)計						0		-
茶	新設	0.0	1.0	0.0	単収増(湿潤かんがい)	152	181	29	0.0	1,468	0	84	-
				1.0	作付増	-	-	181	1.8	1,468	2,642	-	-
						茶計					2,642		-
にがうり	新設	0.0	1.9	1.9	作付増	-	4,500	4,500	85.5	262	22,401	-	-
									にがうり計				22,401
ソリダゴ	新設	0.0	1.2	1.2	作付増	-	110,250	110,250	1,323.0	40	52,920	36	19,051
									ソリダゴ計				52,920
マンゴー	新設	0.0	5.5	5.5	作付増	-	1,500	1,500	82.5	3,725	307,313	72	221,265
									マンゴー計				307,313
ローズグラス	新設	15.6	12.5	12.5	単収増(湿潤かんがい)	5,906	9,036	3,130	391.3	42	16,435	92	15,120
				△3.1	作付減	-	-	5,906	△183.1	42	△7,690	25	△1,923
						ローズグラス計					8,745		13,197

ばれいしょ	新設	15.3	18.6	15.3	単収増 (湿潤かんがい)	2,105	2,400	295	45.1	164	7,396	93	6,878
				3.3	作付増	-	-	2,400	79.2	164	12,989	37	4,806
						ばれいしょ計					20,385		11,684
さといも	新設	1.1	1.4	1.1	単収増 (湿潤かんがい)	818	1,153	335	3.7	282	1,043	90	939
				0.3	作付増	-	-	1,153	3.5	282	987	6	59
						さといも計					2,030		998
かぼちゃ	新設	0.5	1.1	0.5	単収増 (湿潤かんがい)	980	1,147	167	0.8	280	224	86	193
				0.6	作付増	-	-	1,147	6.9	280	1,932	0	-
						かぼちゃ計					2,156		193
にんじん	新設	0.4	3.4	0.4	単収増 (湿潤かんがい)	1,402	1,795	393	1.6	72	115	79	91
				3.0	作付増	-	-	1,795	53.9	72	3,881	-	-
						にんじん計					3,996		91
しょうが	新設	0.4	1.5	0.4	単収増 (湿潤かんがい)	1,856	2,561	705	2.8	275	770	94	724
				1.1	作付増	-	-	2,561	28.2	275	7,755	43	3,335
						しょうが計					8,525		4,059
普通畑計	新設	103.1	97.8								443,168		292,822
	更新	-	-								-		-
新設整備		103.1	97.8								443,168		292,822
更新整備		-	-								-		-
合計											443,168		292,822

(注) 作付面積、生産増減量：小数点第2位を四捨五入。

単収、生産物単価、純益率：整数で記載。

増加粗収益額、年効果額：小数点第1位で四捨五入し、整数で記載。

増収率は、「新たな土地改良の効果算定マニュアル」、近傍地区における試験研究結果、統計データ等を基に整理した。

○年効果額の算定
(区画整理)

作物名	新設・更新	作付面積			効果要因	単 収			生産増減量 ③= ①×② ÷100	生産物単価 ④	増加粗収益額 ⑤= ③×④	純益率 ⑥	年効果額 ⑦=⑤× ⑥÷100
		現況	計画	効果発生面積 ①		事業 なかりせば 単収	事業 ありせば 単収	効果算定 対象 単収 ②					
さとうきび(春植)	新設	1.6	1.6	1.6	単収増(土壌改良)	4,759	5,758	999	16.0	25	400	92	368
				0.0	作付増減	-	-	5,758	0.0	25	0	23	-
						さとうきび(春植)計					400		368
さとうきび(夏植)	新設	1.4	1.4	1.4	単収増(土壌改良)	6,311	7,636	1,325	18.6	25	465	92	428
				0.0	作付増減	-	-	7,090	0.0	25	0	29	-
						さとうきび(夏植)計					465		428
さとうきび(株出)	新設	4.6	4.6	4.6	単収増(土壌改良)	4,845	5,862	1,017	46.8	25	1,170	95	1,112
				0.0	作付増減	-	-	5,862	0.0	25	0	50	-
						さとうきび(株出)計					1,170		1,112
さとうきび(新夏植)	新設	1.4	1.4	0.0	作付増減	-	-	0	0.0	25	0	-	-
									さとうきび(新夏植)計				0
茶	新設	0.2	0.2	0.0	作付増減	-	-	152	0.0	1,468	0	-	-
									茶計				0
にがうり	新設	0.3	0.3	0.0	作付増減	-	4,500	4,500	0.0	262	0	-	-
									にがうり計				0
ソリダゴ	新設	0.2	0.2	0.0	作付増減	-	110,250	110,250	0.0	40	0	36	-
									ソリダゴ計				0
マンゴー	新設	1.0	1.0	0.0	作付増減	-	1,500	1,500	0.0	3,725	0	72	-
									マンゴー計				0
ローズグラス	新設	2.3	2.3	2.3	単収増(土壌改良)	5,906	7,087	1,181	27.2	42	1,142	92	1,051
				0.0	作付増減	-	-	7,087	0.0	42	0	25	-
						ローズグラス計					1,142		1,051

ばれいしょ	新設	3.4	3.4	3.4	単収増 (土壌改良)	1,714	2,400	686	23.3	164	3,821	93	3,554
				0.0	作付増減	-	-	2,400	0.0	164	0	37	-
						ばれいしょ計					3,821		3,554
さといも	新設	0.2	0.2	0.2	単収増 (土壌改良)	818	1,023	205	0.4	282	113	90	102
				0.0	作付増減	-	-	1,023	0.0	282	0	6	-
						さといも計					113		102
かぼちゃ	新設	0.2	0.2	0.2	単収増 (土壌改良)	980	1,078	98	0.2	280	56	86	48
				0.0	作付増減	-	-	1,078	0.0	280	0	0	-
						かぼちゃ計					56		48
にんじん	新設	0.6	0.6	0.0	作付増減	-	-	1,402	0.0	72	0	-	-
						にんじん計					0		-
しょうが	新設	0.3	0.3	0.0	作付増減	-	-	2,561	0.0	275	0	43	-
						しょうが計					0		-
普通畑計	新設	17.7	17.7								7,167		6,663
	更新	-	-								-		-
新設整備		17.7	17.7								7,167		6,663
更新整備		-	-								-		-
合計											7,167		6,663

(注) 作付面積、生産増減量：小数点第2位を四捨五入。
単収、生産物単価、純益率：整数で記載。
増加粗収益額、年効果額：小数点第1位で四捨五入し、整数で記載。

増収率は、「新たな土地改良の効果算定マニュアル」、近傍地区における試験研究結果、統計データ等を基に整理した。

○年効果額の算定
(土壌改良)

作物名	新設・更新	作付面積			効果要因	単 収			生産増減量 ③= ①×② ÷100	生産物 単価 ④	増加 粗収益額 ⑤= ③×④	純 益率 ⑥	年効果額 ⑦=⑤× ⑥÷100
		現況	計画	効果 発生 面積 ①		事業 なかりせば 単収	事業 ありせば 単収	効果算定 対象 単収 ②					
さとうきび(春植)	新設	3.2	3.2	3.2	単収増 (土壌改良)	4,759	5,758	999	32.0	25	800	92	736
				0.0	作付減	-	-	5,758	0.0	25	0	23	-
					さとうきび(春 植)計							800	
さとうきび(夏植)	新設	3.0	3.0	3.0	単収増 (土壌改良)	6,311	7,636	1,325	39.8	25	995	92	915
				0.0	作付減	-	-	7,636	0.0	25	0	29	-
					さとうきび(夏 植)計							995	
さとうきび(株出)	新設	9.5	9.5	9.5	単収増 (土壌改良)	4,845	5,862	1,017	96.6	25	2,415	95	2,294
				0.0	作付減	-	-	5,862	0.0	25	0	50	-
					さとうきび(株 出)計							2,415	
さとうきび(新夏植)	新設	3.0	3.0	0.0	作付減	-	-	0	0.0	25	0	-	-
					さとうきび(新夏 植)計							0	
茶	新設	0.4	0.4	0.0	作付増	-	-	152	0.0	1,468	0	-	-
					茶計							0	
にがうり	新設	0.7	0.7	0.0	作付増	-	4,500	4,500	0.0	262	0	-	-
					にがうり計							0	
ソリダゴ	新設	0.5	0.5	0.0	作付増	-	110,250	110,250	0.0	40	0	36	-
					ソリダゴ計							0	
マンゴー	新設	2.1	2.1	0.0	作付増	-	1,500	1,500	0.0	3,725	0	72	-
					マンゴー計							0	
ローズ グラス	新設	4.7	4.7	4.7	単収増 (土壌改良)	5,906	7,087	1,181	55.5	42	2,331	92	2,145
				0.0	作付減	-	-	7,087	0.0	42	0	25	-
					ローズグラス計							2,331	
ばれい しよ	新設	7.0	7.0	7.0	単収増 (土壌改良)	1,714	2,400	686	48.0	164	7,872	93	7,321
				0.0	作付増	-	-	2,400	0.0	164	0	37	-
					ばれいしよ計							7,872	

さといも	新設	0.5	0.5	0.5	単収増 (土壌改良)	818	1,023	205	1.0	282	282	90	254
				0.0	作付増	-	-	1,023	0.0	282	0	6	-
						さといも計					282		254
かぼちゃ	新設	0.5	0.5	0.5	単収増 (土壌改良)	980	1,078	98	0.5	280	140	86	120
				0.0	作付増	-	-	1,078	0.0	280	0	0	-
						かぼちゃ計					140		120
にんじん	新設	1.3	1.3	0.0	作付増	-	-	1,402	0.0	72	0	-	-
						にんじん計					0		-
しょうが	新設	0.5	0.5	0.0	作付増	-	-	1,856	0.0	275	0	43	-
						しょうが計					0		-
普通畑計	新設	36.9	36.9								14,835		13,785
	更新	-	-								-		-
新設整備		36.9	36.9								14,835		13,785
更新整備		-	-								-		-
合計											14,835		13,785

(注) 作付面積、生産増減量：小数点第2位を四捨五入。
単収、生産物単価、純益率：整数で記載。
増加粗収益額、年効果額：小数点第1位で四捨五入し、整数で記載。

増収率は、「新たな土地改良の効果算定マニュアル」、近傍地区における試験研究結果、統計データ等を基に整理した。

- ・ 現況作付面積： 国営事業における営農計画で設定した土地利用計画を面積按分した。
 - 【新設】
 - ・ 計画作付面積： 国営事業における営農計画で設定した土地利用計画を面積按分した。
 - ・ 事業なかりせば単収： 現況単収であり、農林水産統計等による最近5か年の平均単収により算定した。
 - ・ 事業ありせば単収： 計画単収であり、「現況単収」に効果要因別の増収率を考慮して算定した。
- ・ 効果算定対象単収： 事業ありせば単収と事業なかりせば単収の差である。
(新設整備のうち、作付増においては「事業ありせば単収」、作付減においては「事業なかりせば単収」、水害防止については施設整備による被害防止量である。)
 - ・ 生産物単価： 農業物価統計等による最近5か年の販売価格に消費者物価指数を反映した価格を用いた。
 - ・ 純益率： 国営事業の算定手法に準じて地域の生産費による値を用いた。

(2) 品質向上効果

○効果の考え方

事業を実施した場合（事業ありせば）と事業を実施しなかった場合（事業なかりせば）の生産物単価、商品化率の比較により年効果額を算定した。

○対象作物

さとうきび（春植、夏植、株出）、さといも

○効果算定式

年効果額＝効果対象数量×単価向上額

年効果額＝効果対象数量×商品化向上率×生産物単価

○年効果額の算定（単価向上に係るもの）

<農業用排水施設>

作物名	効果要因	効果対象数量		生産物単価			単価向上額		年効果額		
		更新 ①	新設 ②	事業なかりせば ③	現況 ④	事業ありせば ⑤	現況－事業なかりせば ⑥＝ ④－③	事業ありせば－現況 ⑦＝ ⑤－④	現況－事業なかりせば ⑧＝ ①×⑥	事業ありせば－現況 ⑨＝ ②×⑦	計 ⑩＝ ⑧＋⑨
さとうきび(春植)	湿潤かんがい	t	t	千円/t	千円/t	千円/t	千円/t	千円/t	千円	千円	千円
		-	659	25	25	26.09	-	1.09	-	718	718
さとうきび(夏植)	湿潤かんがい	-	783	25	25	26.09	-	1.09	-	853	853
さとうきび(株出)	湿潤かんがい	-	1,958	25	25	26.09	-	1.09	-	2,134	2,134
さといも	湿潤かんがい	-	16	282	282	326.00	-	44	-	704	704
新設整備										4,409	4,409
更新整備										-	-
計											4,409

【新設】

- ・効果対象数量：
- ・生産物単価：

「事業ありせば」のもとでの生産量。

「現況単価」は、農業物価統計等による最近5か年の販売価格に消費者物価指数を反映した価格を用いた。

「事業ありせば単価」は、「現況単価」に畑地かんがい導入地区の試験データを用いて算出した畑地かんがい品質向上率を考慮し決定した。

○年効果額の算定（商品化率の向上に係るもの）
 <農道整備>

作物名	効果要因	生産量 ①	商品化向上率		効果対象数量		生産物 単価 ⑥	年効果額		
			事業 なかり せば ②	事業 あり せば ③	現況－事 業なかり せば ④＝ ①×②÷100	事業あり せば－現 況 ⑤＝ ①×③÷100		現況－事 業なかり せば ⑦＝ ④×⑥	事業あり せば－現 況 ⑧＝ ⑤×⑥	計 ⑨＝ ⑦＋⑧
		t	%	%	t	t		千円	千円	千円
にがうり(施設)	荷痛み防止	4.50	-	4	-	0.18	262	-	47	47
マンゴー(施設)	荷痛み防止	4.50	-	5	-	0.23	3,725	-	838	838
ばれいしょ	荷痛み防止	21.60	-	3	-	0.65	164	-	106	106
さといも	荷痛み防止	1.15	-	3	-	0.04	326	-	11	885
新設									1,002	1,002
更新										-
合計										1,002

※小数点以下を四捨五入していることから、記載値は計算結果と合わない場合がある。

- ・生産量： 当該効果を発生させる農道の受益に係る現況の生産量。
- ・商品化向上率： 「土地改良事業の費用対効果分析に必要な諸係数等について」による標準値等を使用。
- ・生産物単価： 農作物価統計等による最近5か年の販売価格に消費者物価指数を反映した価格を用いた。

(3) 営農経費節減効果

○効果の考え方

事業を実施した場合（事業ありせば）と事業を実施しなかった場合（事業なかりせば）の労働費、機械経費、その他の生産資材費について比較し、それらの営農経費の増減から年効果額を算定した。

○対象作物

ローズグラス

○効果算定式

$$\text{年効果額} = (\text{事業なかりせば単位面積当たり営農経費} - \text{事業ありせば単位面積当たり営農経費}) \times \text{効果発生面積}$$

○年効果額の算定

<農業用排水施設>

作物名	ha当たり営農経費				ha当たり 経費節減額 ⑤ = (①-②) + (③-④)	効果発生面積 ⑥	年効果額 ⑦ = ⑤ × ⑥ ÷ 1000
	新設整備		更新整備				
	現況 (事業なかりせば) ①	計画 (事業ありせば) ②	事業なかりせば ③	現況 (事業ありせば) ④			
ローズグラス (用水改良)	円 -	円 33,911	円 -	円 -	円 △ 33,911	ha 12.5	千円 △ 424
新設整備	/						△ 424
更新整備	/						-
合計	/						△ 424

※小数点以下を四捨五入していることから、記載値は計算結果と合わない場合がある。

【新設】

- ・ 現況営農経費： ① 現況における散水はないため営農経費は発生しない。
- ・ 計画営農経費： ② 畑地かんがいによる経費を算定した。

○年効果額の算定

<区画整理>

作物名	ha当たり営農経費				ha当たり 経費節減額 ⑤ = (①-②) + (③-④)	効果発生面積 ⑥	年効果額 ⑦ = ⑤ × ⑥ ÷ 1000
	新設整備		更新整備				
	現況 (事業なかりせば) ①	計画 (事業ありせば) ②	事業なかりせば ③	現況 (事業ありせば) ④			
ローズグラス (区画整理)	円 506,960	円 223,187	円 -	円 -	円 283,773	ha 2.3	千円 653
土砂流出防止に係る省力効果	413,630	219,590	-	-	194,040	18.3	3,551
新設整備	/						4,204
更新整備	/						-
合計	/						4,204

※小数点以下を四捨五入していることから、記載値は計算結果と合わない場合がある。

【新設】

- ・ 現況営農経費： ① 地域の現在の営農経費であり、聞き取り等による実態調査に基づき算定した。降雨時の土砂流出による表土の補給経費を算出した。
- ・ 計画営農経費： ② 想定される事業により増減した地域の営農経費であり、鹿児島県の農業経営指標等を基に算定した。土砂流出量の減少による表土作りに作業の省力化等を算出した。

(4) 維持管理費節減効果

○効果の考え方

事業を実施した場合（事業ありせば）と実施しなかった場合（事業なかりせば）を比較し、施設の維持管理費の増減をもって年効果額を算定した。

○対象施設

国営施設（徳之島ダム、小水力発電所、揚水機場、加圧・減圧施設、送水・幹線水路等）
 県営施設（加圧・減圧施設、幹線・支線水路等）

○効果算定式

年効果額＝事業なかりせば維持管理費－事業ありせば維持管理費

○年効果額の算定

<農業用排水施設>

区分	新設	現況維持管理費①	事業ありせば維持管理費②	年効果額 ③＝①－②
	更新	事業なかりせば維持管理費①	現況維持管理費②	
		千円	千円	千円
新設整備		-	8,134	△ 8,134
更新整備		-	-	-
計				△ 8,134

【新設】

- ・現況維持管理費（①）： 現況施設が存在しないため維持管理費は発生しない。
- ・事業ありせば維持管理費（②）： 事業実施により見込まれる維持管理費の節減を考慮し算定した。

○年効果額の算定

<区画整理>

区分	新設	現況維持管理費①	事業ありせば維持管理費②	年効果額 ③＝①－②
	更新	事業なかりせば維持管理費①	現況維持管理費②	
		千円	千円	千円
新設整備		165	1,131	△ 966
更新整備		54	165	△ 111
計				△ 1,077

【新設】

- ・現況維持管理費（①）： 現況施設の維持管理費に基づき算定した。
- ・事業ありせば維持管理費（②）： 現況施設の維持管理費を基に、本事業の実施により見込まれる維持管理費の増減を考慮し算定した。

【更新】

- ・現況維持管理費（①）： 現況施設の維持管理費を基に、施設の機能を失った場合に想定される安全管理等に最低限必要な維持管理費を算定した。
- ・事業ありせば維持管理費（②）： 現況施設の維持管理費に基づき算定した。

○年効果額の算定

<農道整備>

区分	新設	現況維持管理費①	事業ありせば維持管理費②	年効果額 ③＝①－②
	更新	事業なかりせば維持管理費①	現況維持管理費②	
		千円	千円	千円
新設整備		65	45	20
更新整備		14	65	△ 51
計				△ 31

【新設】

- ・現況維持管理費（①）： 現況施設の維持管理費に基づき算定した。
- ・事業ありせば維持管理費（②）： 現況施設の維持管理費を基に、本事業の実施により見込まれる維持管理費の増減を考慮し算定した。

【更新】

- ・現況維持管理費（①）： 現況施設の維持管理費を基に、施設の機能を失った場合に想定される安全管理等に最低限必要な維持管理費を算定した。
- ・事業ありせば維持管理費（②）： 現況施設の維持管理費に基づき算定した。

(5) 営農に係る走行経費節減効果

○効果の考え方

事業を実施した場合（事業ありせば）と実施しなかった場合（事業なかりせば）の農業交通に係る走行経費の増減をもって年効果額を算定した。

○対象施設

幹線農道

○効果算定式

年効果額＝事業なかりせば走行経費－事業ありせば走行経費

○年効果額の算定

<区画整理>

区分	新設	現況走行経費①	事業ありせば走行経費②	年効果額 ③＝①－②
	更新	事業なかりせば走行経費①	現況走行経費②	
		千円	千円	千円
新設整備		3,063	2,100	963
更新整備		23,664	3,063	20,601
合計				21,564

<農道整備>

区分	新設	現況走行経費①	事業ありせば走行経費②	年効果額 ③＝①－②
	更新	事業なかりせば走行経費①	現況走行経費②	
		千円	千円	千円
新設整備		1,191	807	384
更新整備		11,540	1,191	10,349
合計				10,733

【新設】

- ・現況走行経費： 現況の農業交通に係る走行経費を基に算定した。
- ・事業ありせば走行経費： 道路の整備後における農業交通に係る走行経費を算定した。

【更新】

- ・事業なかりせば走行経費： 整備した道路の機能が喪失した状態において想定される農業交通に係る走行経費を算定した。
- ・現況走行経費： 現況の農業交通に係る走行経費を基に算定した。

(6) 農業労働環境改善効果

○効果の考え方

事業の実施により、営農に係る労働が質的に改善（労働強度の改善、精神的疲労の軽減等）される効果であり、市場で扱われていない価値であるため、受益者にWTP（Willingness To Pay：支払意思額）を尋ねることで、その価値を直接的に評価する手法であるCVM（Contingent Valuation Method：仮想市場法）により効果を算定した。

○対象作業

危険作業の解消（防除用水運搬作業）

○効果算定式

年効果額＝労働改善に対する支払意思額×受益面積

○年効果額の算定

<農業用排水施設>

作業軽減対象作業名	作業負荷軽減対象作業方法			労働改善に関するWTP		受益面積		年効果額	
	事業 なかりせば	現況	事業 ありせば	更新整備 ①	新設整備 ②	更新整備 ③	新設整備 ④	更新整備 ⑤＝①×③ ÷100	新設整備 ⑥＝②×④ ÷100
危険作業の解消（防除用水運搬作業）	-	防除用水は、自宅等のほ場外から取水し、トラックに積載してほ場まで運搬する。急カーブや急傾斜地の道路では、転倒や急ブレーキが効かないなどの安全運転には細心の注意を払っている。	防除用水は、ほ場内の給水栓から取水するため、トラックの運搬作業中の交通事故を起こす可能性が低くなり、安全性が向上して心理的な負担が軽減される。	円/10a/年 -	円/10a/年 6,298	ha -	ha 109.9	千円 -	千円 6,922
合計								0	6,922

・労働改善に関するWTP（①）：

受益者に対するアンケート調査結果から得られた、労働改善に対する支払意思額

・受益面積（②）：

事業地区内における当該効果にかかる受益面積

(7) 地籍確定効果

○効果の考え方

事業を実施した場合（事業ありせば）と実施しなかった場合（事業なかりせば）を比較し、土地を国土調査する場合に要する経費の差をもって年効果額を算定した。

○対象

事業による区画整理実施地区のうち国土調査未実施地域

○効果算定式

年効果額 = (事業なかりせば国土調査経費 - 事業ありせば国土調査経費) × 還元率

○年効果額の算定

<区画整理>

区分	事業なかりせば 国土調査費 ①	事業ありせば 国土調査費 ②	還元率 ③	年効果額 ④ = (① - ②) × ③
新設整備	千円 372	千円 -	0.0408	千円 15

(注) 還元率：小数点第5位四捨五入し、小数第4位まで記載。

年効果額：小数点第1位で四捨五入し、整数で記載。

- ・事業なかりせば国土調査経費 (①) : 近傍地区における国土調査費を基に算定した。
- ・事業ありせば国土調査経費 (②) : 国土調査法第19条第5項の申請に要する費用相当額を算定。
- ・還元率 (③) : 施設等が有している総効果額を耐用年数期間（基本的に100年とする）に換算するための係数。

(8) 景観・環境保全効果

○効果の考え方

景観や自然環境が保全、創設される効果であり、市場で扱われていない価値であるため、地域住民等にWTP (Willingness To Pay: 支払意思額) を尋ねることで、その価値を直接的に評価する手法であるCVM (Contingent Valuation Method: 仮想市場法) により効果を算定した。

○対象施設

徳之島ダム

○年効果額算定式

年効果額 = 一戸あたりの支払意思額[※] × 受益範囲世帯数 × { C1 / (C1 + C2) }
 ただし、
 C1 : 景観・環境保全施設の資本還元額のうち当該土地改良事業分
 C2 : 景観・環境保全施設の資本還元額のうちその他事業分

※過去の国営地区における算定結果を基にした計算式によりWTPを推計

○年効果額の算定

<農業用排水施設>

区分	土地改良施設名	CVMによる効果額 ①	景観・環境保全施設の資本還元額 ②=③+④	当該土地改良事業の資本還元額 ③	その他事業の資本還元額 ④	当該土地改良事業における効果額 ⑤=①×(③/②)
		千円	千円	千円	千円	千円
新設整備	徳之島ダム	11,125	11,125	11,125	0	11,125
合計						11,125

○年効果額の算定

<区画整理>

区分	土地改良施設名	CVMによる効果額 ①	景観・環境保全施設の資本還元額 ②=③+④	当該土地改良事業の資本還元額 ③	その他事業の資本還元額 ④	当該土地改良事業における効果額 ⑤=①×(③/②)
		千円	千円	千円	千円	千円
新設整備	徳之島ダム	19,694	19,694	19,694	0	19,694
合計						19,694

(9) その他の効果 (国産農産物安定供給効果)

○効果の考え方

国産農産物の安定供給に対して国民が感じる安心感の効果であるため、一般国民に対してWTP (Willingness To Pay: 支払意思額) を尋ねることで、その価値を直接的に評価する手法であるCVM (Contingent Valuation Method: 仮想市場法) により年効果額を算定した。

○対象作物

作物生産効果算定作物のうち、食料生産に係るもの

さとうきび (春植、夏植、株出)、茶、にがうり、マンゴー、ローズグラス
ばれいしょ、さといも、かぼちゃ、にんじん、しょうが

○効果算定式

年効果額 = 年増加粗収益額 × 単位食料生産額当たり効果額 (原単位)
+ 年増加供給熱量 × 単位供給熱量当たり効果額 (原単位)

○年効果額の算定

<農業用排水施設>

区分	増加粗収益額 ①	増加供給熱量 ②	単位食料生産額当たり効果額 ③	単位供給熱量当たり効果額 ④	当該土地改良事業における年効果額 ⑤ = (①×③ + ②×④) ÷ 1000
	千円	千kcal	円/千円	円/千kcal	千円
新設整備	390,248	698,729	49	9.9	26,040
更新整備	-	-	49	9.9	-
合計	390,248	698,729			26,040

<区画整理>

区分	増加粗収益額 ①	増加供給熱量 ②	単位食料生産額当たり効果額 ③	単位供給熱量当たり効果額 ④	当該土地改良事業における年効果額 ⑤ = (①×③ + ②×④) ÷ 1000
	千円	千kcal	円/千円	円/千kcal	千円
新設整備	7,167	92,451	49	9.9	1,266
更新整備	-	-	49	9.9	-
合計	7,167	92,451			1,266

<土壌改良>

区分	増加粗収益額 ①	増加供給熱量 ②	単位食料生産額当たり効果額 ③	単位供給熱量当たり効果額 ④	当該土地改良事業における年効果額 ⑤ = (①×③ + ②×④) ÷ 1000
	千円	千kcal	円/千円	円/千kcal	千円
新設整備	14,835	190,004	49	9.9	2,608
更新整備	-	-	49	9.9	-
合計	14,835	190,004			2,608

・増加粗収益額、増加供給熱量 : 作物生産効果の算定過程で整理した結果を用いて、事業ありせばと事業なかりせばにおける増加粗収益額及び増加供給熱量を整理した。

・単位食料生産額当たり効果額、単位供給熱量当たり効果額 : 一般国民に対し国産農産物の安定供給についてWTPを尋ねるCVMにより、年効果額の算定に用いる単位食料生産額当たり効果額 (原単位) は49円/千円、単位供給熱量当たり効果額 (原単位) は9.9円/千kcalとした

3 評価に使用した資料

【共通】

- ・農林水産省農村振興局整備部（監修）[改訂版]「新たな土地改良の効果算定マニュアル」大成出版社（平成27年9月5日第2版第1刷発行）
- ・「土地改良事業の費用対効果分析マニュアルの制定について」（平成19年3月28日付け18農振第1597号農林水産省農村振興局企画部長通知（最終改正：令和7年4月2日））
- ・土地改良事業の費用対効果分析に必要な諸係数について（平成19年3月28日付け18農振第1598号農林水産省農村振興局企画部長通知（令和7年4月1日一部改正））
- ・土地改良事業の費用対効果分析に必要な諸係数等について（令和7年4月1日付け農林水産省農村振興局整備部土地改良企画課課長補佐（事業効果班）事務連絡）
- ・土地改良事業の費用対効果分析における参考資料等について（令和4年4月11日付け農林水産省農村振興局整備部関係課関係班連名事務連絡）
- ・「国産農産物安定供給効果」について（平成27年3月27日付け26農振第2072号農林水産省農村振興局整備部長通知（令和5年4月3日一部改正））

【費用】

- ・当該事業費（及び関連事業費）に係る一般に公表されていない諸元については、鹿児島県大島支庁徳之島事務所調べ

【便益】

- ・九州農政局統計部（平成30年～令和4年）「第66次～70次九州農林水産統計年報」九州農政局統計部
- ・鹿児島県大島支庁（平成28年～令和2年）「奄美群島の概況」
- ・鹿児島県農政部経営技術課「鹿児島県農業経営管理指導指標」（令和2年）
- ・「平成21年度徳之島用水（一期・二期）農業水利事業経済効果算定書」抜粋
- ・上記以外の効果算定に必要な各種諸元については、鹿児島県大島支庁徳之島事務所調べ

令和7年度 九州農政局補助事業再評価 (参考資料)

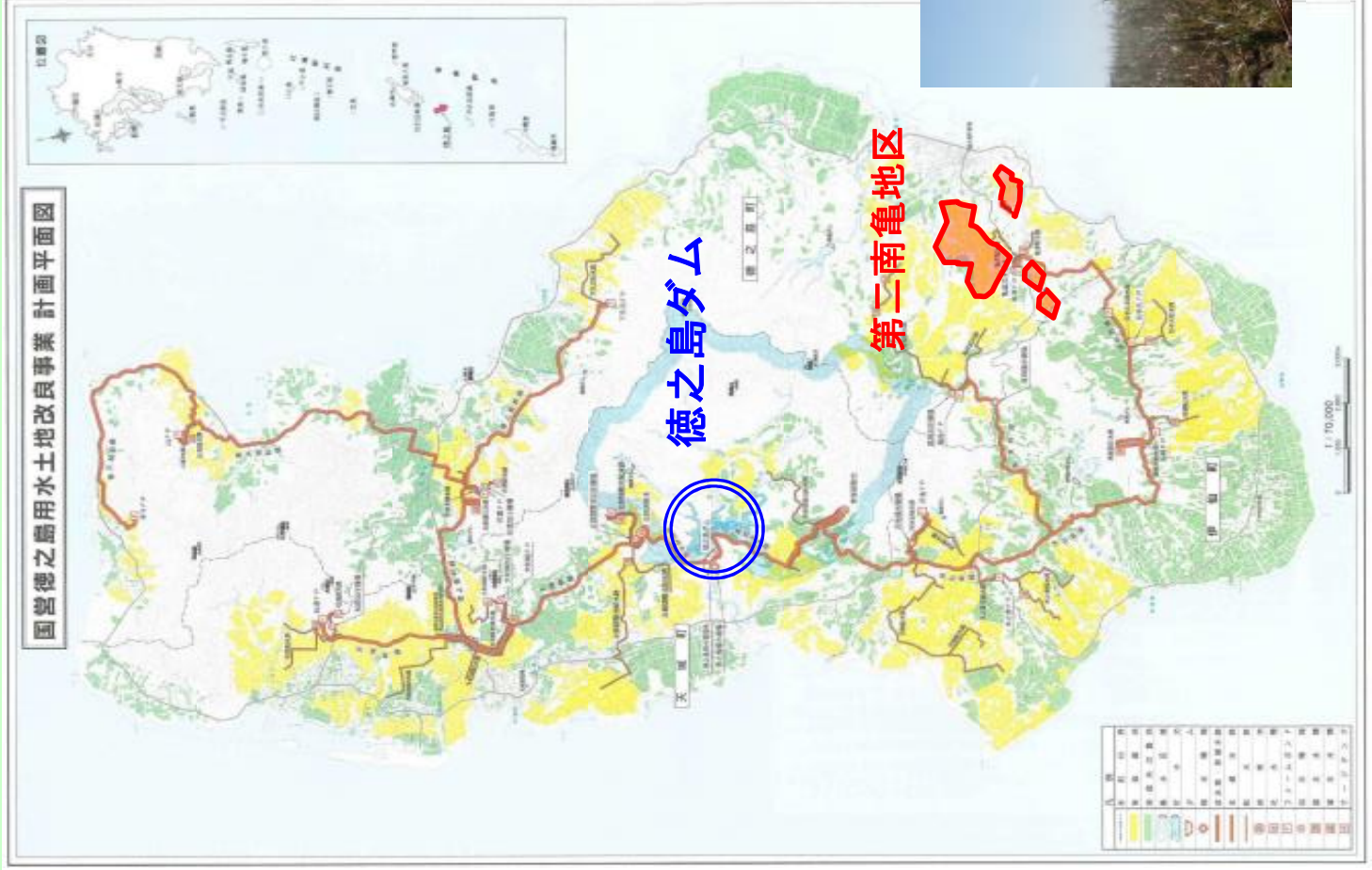
水利施設等保全高度化事業

だいにみなみがめ

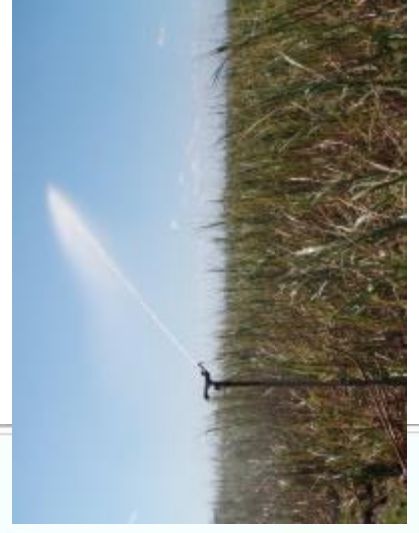
第二南亀地区

鹿児島県

○ 事業概要要図



主要 工事	農業用排水施設	110ha
	区画整理	27ha

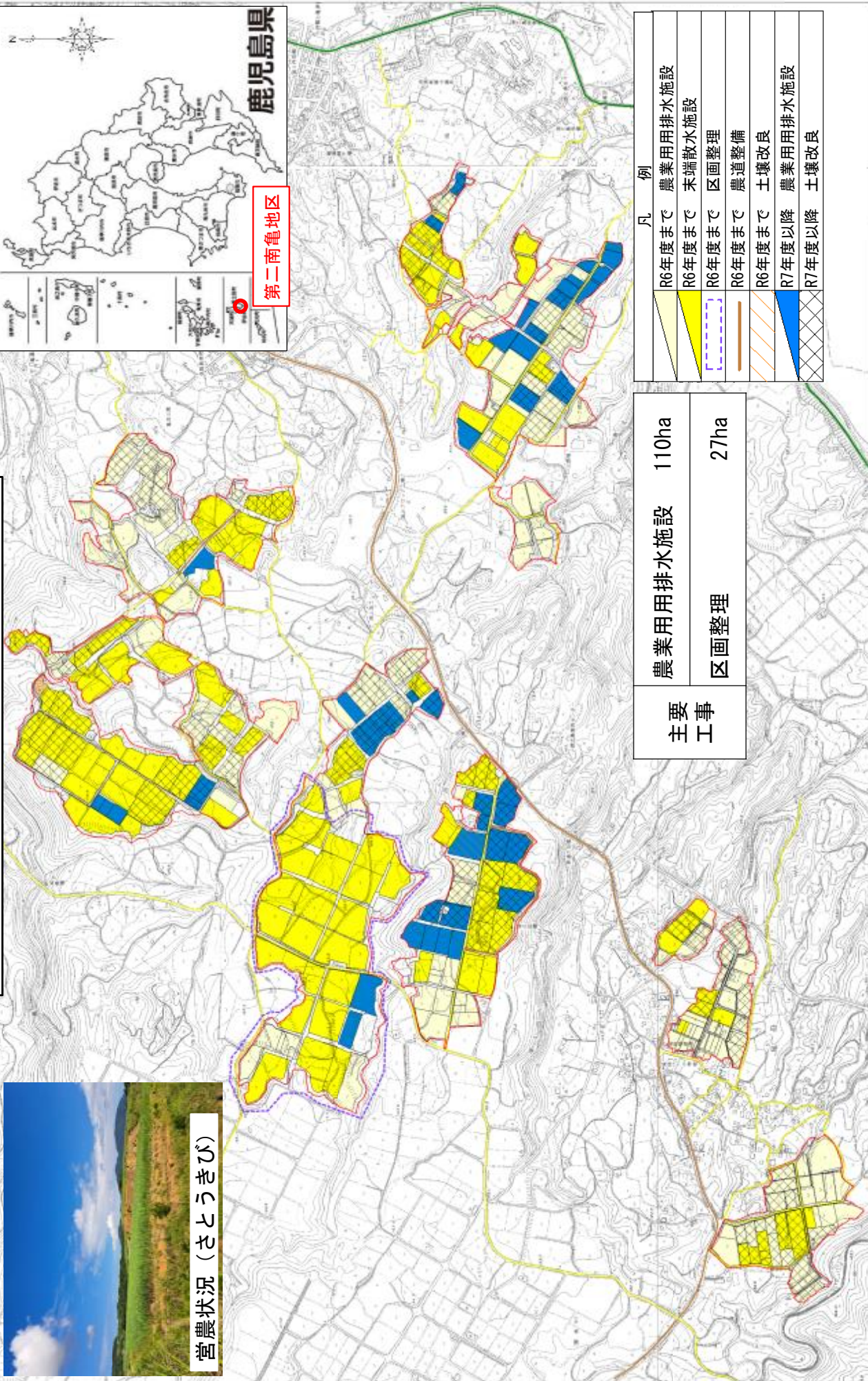


(サトウキビ散水状況)

水利施設等保全高度化事業 「第二南亀地区」事業概要図



営農状況 (さとうきび)



主要	農業用排水施設	110ha
工事	区画整理	27ha

凡例	
	R6年度まで 農業用排水施設
	R6年度まで 末端散水施設
	R6年度まで 区画整理
	R6年度まで 農道整備
	R6年度まで 土壌改良
	R7年度以降 農業用排水施設
	R7年度以降 土壌改良

○ 事業内容

○ 事業目的：本地区は、農業を基幹産業とする畑作農業地帯である。国営農地開発、県営畑地帯総合整備事業及び団体営整備等により区画整理が実施され営農条件は改善されている。

しかし、離島という立地条件や降雨の偏りが大きいこともあり、干ばつ被害や強風、潮風による塩害を受けやすく、天候頼みの不安定な農業経営を強いられている。また、本地区の西側団地では区画が不整形であり、効率的な農業ができない状況である。

このため、国営かんがい排水事業「徳之島用水地区」にて造成された「徳之島ダム」を水源とした末端畑地かんがい施設（新設）を整備し、西側団地の区画整理未整備地区を併せて整備することにより生産性を高め、国営事業と一体化した効果の発現を図る。これにより、農業の生産性向上、規模拡大と担い手農家の育成を図り、地域農業の発展を目指す。

○ 事業主体： 鹿児島県

○ 受益面積： 110ha

○ 主要工事計画： 農業用排水施設 110ha

区画整理 27ha（整地工21ha、農道1km、排水路2km、
土壌改良41ha、排水処理工30ha）

○ 総事業費： 2,836百万円（計画総事業費：2,777百万円）

○ 工期： 平成27年度（2015年度）～令和10年度（2028年度）

（計画工期：平成27年度（2015年度）～令和8年度（2026年度））

○ 関連事業： 国営かんがい排水事業徳之島用水地区

さとうきび



マンゴー



ばれいしょ



さといも



○ 事業計画の経緯 及び 事業進捗状況

項目	当初計画	(第1回)変更計画	再評価 ※()は、直近計画からの増減率	令和6年度時点の整備状況 ※()は、令和6年度時点の進捗(整備)率(再評価との比較)
実施年月	平成27年4月 (2015年)	令和7年4月 (2025年)	令和8年3月 (2026年)	
受益面積	110ha	110ha	110ha (0.0%)	
主要工事計画	農業用排水施設 110ha 区画整理 27ha	農業用排水施設 110ha 区画整理 27ha	農業用排水施設 110ha (0.0%) 区画整理 27ha (0.0%)	農業用排水施設 104ha (78.1%) 区画整理 25ha (90.1%)
事業費	2,209百万円	2,777百万円	2,836百万円 (2.1%) 変動率(物価変動を除く) 0% < 10%	2,163百万円 (76.3%)
工期	平成27年度 (2015年度) ～ 令和3年度 (2021年度)	平成27年度 (2015年度) ～ 令和8年度 (2026年度)	平成27年度 (2015年度) ～ 令和10年度 (2028年度)	
費用対効果 (B/C)	1.10	1.07	1.22	

○ 事業工期の見直し

		年 度													
各時点	事業 工期	H27 (2015)	H28 (2016)	H29 (2017)	H30 (2018)	R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	R7 (2025)	R8 (2026)	R9 (2027)	R10 (2028)
当初計画 (H27計画)	H27 ～ R3														
第1回 計画変更 (R6)	H27 ～ R8														
再評価 (R7)	H27 ～ R10														

減圧水槽の施工にあたり、用地取得のための土地調査及び相続関係人等の調査・交渉に時間を要した。
 しかしながら、当該用地が取得できず、減圧水槽の位置を変更することになったため、これに伴う地区全体の用水設計の変更が生じたことにより延伸

畑かん整備にあたって、1区画のほ場に複数の地権者等がいる場合、ほ場内配管位置の調整に時間を要したことにより延伸

費用対効果分析の結果 (1 / 2)

1 便益 ① 年総効果額の総括

効果項目	区分	年総効果 (便益) 額 (千円)		効果の要因
		① 直近効果	② 再評価 (増減: ③=②-①)	
食料の安定供給に関する効果		248,653	345,516 (96,863)	
作物生産効果		213,430	313,270 (99,840)	農業用排水施設整備・区画整理・土壌改良を実施した場合と実施しなかった場合での作物生産量が削減する効果
品質向上効果		4,899	5,411 (512)	農業用排水施設整備・農道整備を実施した場合と実施しなかった場合での生産物の価格が維持、向上する効果
営農経費削減効果		7,453	3,780 (△ 3,673)	農業用排水施設整備・区画整理を実施した場合と実施しなかった場合での営農経費が削減する効果
維持管理費削減効果		△ 6,913	△ 9,242 (△ 2,329)	農業用排水施設整備・区画整理・農道整備を実施した場合と実施しなかった場合での施設の維持管理費が削減する効果
営農に係る走行経費削減効果		29,784	32,297 (2,513)	区画整理・農道整備を実施した場合と実施しなかった場合での農業交通に係る走行経費が増減する効果
農業の持続的発展に関する効果		5,177	6,922 (1,745)	
農業労働環境改善効果		5,177	6,922 (1,745)	農業用排水施設整備を実施したことにより、営農に係る労働が質的に改善 (労働強度の改善、精神的疲労の軽減など) されている効果
農村の振興に関する効果		11	15 (4)	
地籍確定効果		11	15 (4)	区画整理を実施した場合と実施しなかった場合での国土調査に要する経費が削減する効果
多面的機能の発揮に関する効果		23,205	30,819 (7,614)	
景観・環境保全効果		23,205	30,819 (7,614)	農業用排水施設整備・区画整理にあたり、周辺の景観や環境へ配慮した設計・構造を合わせもった施設として整備されることで発掘される効果 (降雨時は工事を行わないことにより、海へ赤土流出を防ぐことによる多面的な効果)
その他の効果		2,432	29,914 (27,482)	
国産農産物安定供給効果		2,432	29,914 (27,482)	農業用排水施設整備・区画整理・土壌改良により農業生産性の向上や営農条件等の改善が図られ、国産農産物の安定供給に寄与する効果
合計		279,478	413,186	

② 総便益額

	直近計画 (千円)	再評価 (千円)
総便益額	4,279,302	9,854,727

○ 費用対効果分析の結果（2 / 2）

2 総費用

	直近計画（千円）	再評価（千円）
本事業の事業費	2,777,000	2,836,000
総費用（現在価値化）	3,988,295	8,050,022
当該事業による費用	1,954,100	3,753,039
その他費用（関連事業費＋資産価額＋再整備費）	2,034,195	4,296,983

総費用総便益比

	直近計画（千円）	再評価（千円）
総便益（Benefit）	4,279,302	9,854,727
総費用（Cost）	3,988,295	8,050,022
総費用総便益比（B / C）	1.07	1.22

・ 本地域は、「アマミノクロウサギ」などの希少生物も近隣の山林等で確認されている。本事業を行うことで、希少生物を含む各種生物の生息場所や餌場が改変され、生態系に悪影響を及ぼすような直接的影響は無いが、重機等の振動や騒音による影響が懸念されることから、今後も排ガス対策型や低騒音・低振動型の作業機械を使用し、各種生物へ配慮している。

また、工事の実施においては、降雨時に土砂流出等が懸念されるため、降雨時は工事を実施しないなど、海洋生物の生息環境へも配慮している。



BH(超低騒音型, 排出ガス基準適合)

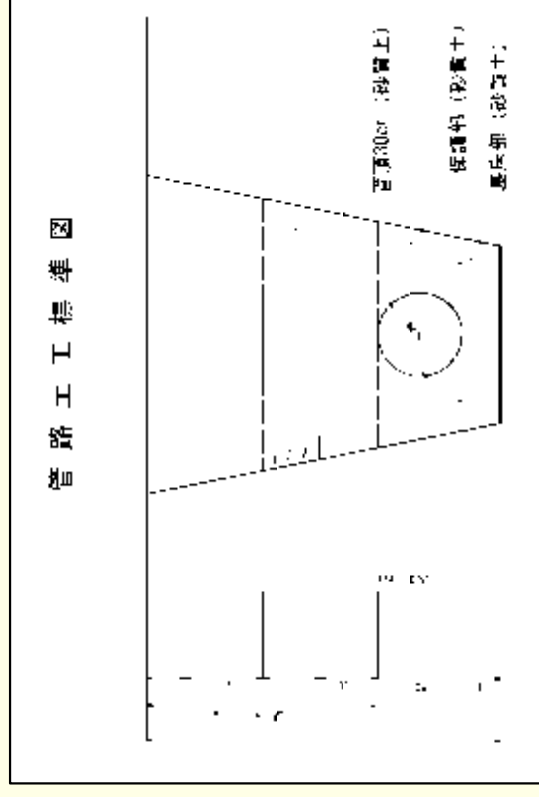
アマミノクロウサギ

珊瑚礁

- 工事に伴う建設発生土について、処分場に搬出せず可能な限り農地へ還元するなど有効利用できるよう、地権者等に積極的に声かけを行うており、処分費用の縮減に努めている。
- また、用水施設の管埋設時の埋設深さについて浅埋設(1.2m→0.6m)とするなど、積極的にコスト縮減に努めている。



建設発生土を農地の表土として還元することでコスト縮減を図っている。



埋設深さについて浅埋設(1.2m→0.6m)とすることでコスト縮減を図っている。

受益地ではさとうきびを基幹に露地野菜などを中心とした栽培が行われており、徳之島ダムからの通水に伴い、平成28年度から本地区でも水利用が開始されたことにより、畑地かんがい用水を活用した高収益作物栽培の推進や作物の生産性向上に取り組んでいるところである。

受益者・町・土地改良区は、営農の省力化や農業用水の確保による農業経営の安定及び生産性向上のため、本事業による農業用排水施設・区画整理の早期完了を要望している。